

学 年

2

令和8年度

シラバス

令和8年度

シラバス

SYLLABUS
for
STUDENTS



二

第2学年

日本歯科大学生命歯学部

番号		氏名	
----	--	----	--

日本歯科大学生命歯学部

令和8年度 第2学年
シラバス Syllabus for students

本書の使い方	1
授業時間表	2
授業科目の履修時期と単位数	4
前学期授業科目	7
後学期授業科目	5 5

本書の使い方

本書は、学生諸君が履修すべき授業の概要をあらかじめ把握し、自ら積極的に受講する意欲を起こし、勉学の習慣を培うために作成した。

各授業を系統的に理解できるように、アウトラインをまとめてあるので、下記のとおり活用されたい。

記

- 1) 授業に際し、事前に該当授業のページに目を通しておくこと。
- 2) 授業に際し、本書を必ず持参し、必要に応じてチェックすること。
- 3) 欠席した場合には、該当授業のページを確認し、事後の補習に備えること。
- 4) やむを得ざる事情により休講した場合には、該当授業の変更を確認しておくこと。
- 5) 予習と復習の指針とすること。
- 6) 試験に際し、試験範囲等の系統的勉強の指針とすること。

令和8年度（第2学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※
火	スポーツ歯学 (五味)	歯科理工学 (新谷)	生理学 (佐伯)	プロフェッショナリズム2 (菊池/新谷)	※
水	生化学 (才木)	衛生・公衆衛生学 (田中)	コミュニケーション概論 (実習:岩田)		※
木	歯学英语 (横山)	歯の解剖学 (春原/菊池)	歯の解剖学 (実習:春原/菊池)		※ 【編入学者】
金	薬理学 (筒井)	生命歯学探究 (新谷/田谷)	組織学 (菊池)	臨床につなげる基礎学と教養 (菊池/添野)	※

- 1) 授業期間 令和8年4月6日(月)～令和8年7月24日(金)
 (令和8年7月21日(火)～令和8年7月24日(金)は授業予備日)
 (令和8年7月27日(月)～令和8年8月25日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 142講堂

- 3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。
 ②「※【編入学者】」は第1学年次科目「歯の解剖学」
 「病院医療概論」の補習。

令和8年度（第2学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	病理学 (添野)	歯科理工学 (新谷)	歯科理工学 (実習:新谷)		※
火	衛生・公衆衛生学 (田中)	全部床義歯補綴学 (隅田)	組織学 (菊池)	地域連携・在宅医療概論 (田村)	※
水	生理学 (佐伯)	生化学 (才木)	生化学 (実習:才木)		※
木	薬理学 (筒井)	歯学英语 (横山)	生理学 (実習:佐伯)		※
金	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※

- 1) 授業期間 令和8年9月24日(木)～令和8年12月24日(木)
 令和9年1月12日(火)～令和9年1月14日(木)
 (令和9年1月14日(木)は授業予備日)
 (令和8年12月25日(金)～令和9年1月8日(金)は冬期休業)

2) 講 堂 142講堂

3) その他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。

授業科目の履修時期と単位数

【2026年度第2学年以降】

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
心理学	3													
医療コミュニケーション学	1.5													
法学	1.5													
社会福祉学	1.5													
人類学	1.5													
医学英語	3													
国語表現	3													
数学	1.5													
スポーツ・健康学実技	1													
物理学	3													
化学	3													
化学実習	1													
生物学	3													
生物学実習	1													
医学統計学	1.5													
歯科医療情報学実習	1													
プロフェッショナリズム1	1.5													
話し合い基盤型問題解決演習	1													
学習法基本概論	1.5													
病院医療概論	1.5													
食育学	1.5													
生命歯学概論	2													
発生と再生	1.5													
行動科学	1.5													
歯学英語	3													
解剖学	4.5													
解剖学実習	2													
歯の解剖学	3													
歯の解剖学実習	1													
組織学	4.5													
組織学実習	1													
生理学	4.5													
生理学実習	1													
生化学	4.5													
生化学実習	1													
微生物学	4.5													
微生物学実習	1													
薬理学	4.5													
薬理学実習	1													

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学 士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
衛生・公衆衛生学	3			■	■									
口腔保健学	3					■	■							
衛生学・口腔衛生学実習	1						■							
歯科理工学	4.5			■	■	■	■							
歯科理工学実習	2				■	■	■							
病理学	4.5				■	■	■							
病理学実習	1						■							
スポーツ歯学	1			■										
プロフェッショナルリズム2	1.5			■										
臨床につながる基礎学と教養	1.5			■										
地域連携・在宅医療概論	1.5				■									
生命歯学探究	1.5			■										
コミュニケーション概論実習	1			■										
歯科硬組織修復学	4.5					■	■	■						
歯科硬組織修復学実習	1						■	■						
歯内療法学	3						■	■						
歯内療法学実習	1							■						
歯周病学	3						■	■						
歯周病学実習	1								■					
全部床義歯補綴学	4.5				■	■								
全部床義歯補綴学実習	1							■						
部分床義歯補綴学	4.5						■	■						
部分床義歯補綴学実習	1								■					
歯冠補綴学	4.5					■	■	■						
歯冠補綴学実習	1								■					
口腔外科学	3					■	■							
口腔内科学	1.5							■						
口腔外科の基本手技実習	1								■					
歯科矯正学	3						■	■						
歯科矯正学実習	1							■						
小児歯科学	3						■	■						
小児歯科学実習	1							■						
歯科放射線学	4.5					■	■	■						
高齢者歯科学	1.5						■							
外科学	1.5						■							
内科学	1.5						■							
歯科麻酔・救急処置	3							■	■					

授 業 科 目	単 位	1年		2年		3年		4年		5年		6年		学士
		前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	前	後	
総合基礎歯学	1.5								■					
総合臨床歯学	1.5								■					
統合臨床基礎学実習	1								■					
障害者歯科学	1							■						
口腔インプラント学	1.5							■						
臨床実習	17.5									■	■			
基礎医学演習 1	1		■											
基礎医学演習 2	1				■									
総合基礎医学演習 1	1						■							
総合基礎医学演習 2	1								■					
臨床歯学探究	1										■			
総合科目①②③	3											■	■	
包括歯科医学①②	1													■

単位合計数	199.5単位
-------	---------

前学期授業科目

微生物学	10
解剖学	13
解剖学実習	16
スポーツ歯学	19
歯科理工学	22
生理学	25
プロフェッショナリズム2	28
生化学	30
衛生・公衆衛生学	32
コミュニケーション概論実習	35
歯学英语	37
歯の解剖学	39
歯の解剖学実習	41
薬理学	43
生命歯学探究	45
組織学	48
臨床につなげる基礎学と教養	51

(計 17科目)

Microbiology	10
Anatomy	13
Practice of Anatomy	16
Sports Dentistry	19
Dental Materials Science	22
Physiology	25
Professionalism	28
Biochemistry	30
Public Health	32
Introduction to Communication Practice	35
English for Dental Medicine	37
Oral Anatomy	39
Laboratory Practice in Dental Anatomy	41
Pharmacology	43
Research for Life Dental Science	45
Histology	48
The course in fundamental education for clinical practices	51
(計 17科目)	

令和8年度（第2学年 前学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※
火	スポーツ歯学 (五味)	歯科理工学 (新谷)	生理学 (佐伯)	プロフェッショナリズム2 (菊池/新谷)	※
水	生化学 (才木)	衛生・公衆衛生学 (田中)	コミュニケーション概論 (実習:岩田)		※
木	歯学英语 (横山)	歯の解剖学 (春原/菊池)	歯の解剖学 (実習:春原/菊池)		※ 【編入学者】
金	薬理学 (筒井)	生命歯学探究 (新谷/田谷)	組織学 (菊池)	臨床につなげる基礎学と教養 (菊池/添野)	※

- 1) 授業期間 令和8年4月6日(月)～令和8年7月24日(金)
 (令和8年7月21日(火)～令和8年7月24日(金)は授業予備日)
 (令和8年7月27日(月)～令和8年8月25日(火)は夏期休業)

2) 講 堂 142講堂

- 3) その他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。
 ②「※【編入学者】」は第1学年次科目「歯の解剖学」
 「病院医療概論」の補習。

科目名

微生物学

曜日 時間

月

9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

微生物学の基本的な理解のために、細菌の分類、形態、生化学、遺伝学について知る。また、化学療法、滅菌・消毒、宿主側の生体防御機構と寄生体側の病原因子について理解する。その上で、微生物学各論で、個々の微生物の形態、構造、機能、病原因子を理解し、疾患の診断、治療、及び予防を行うのに必要な知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

石原和幸 他 編集

口腔微生物学

第8版

学建書院

担当者一覧

高橋幸裕, 田代有美子

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(50%) 論述試験(40%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度、遅刻、欠席を含む)[減点式] その他(小テスト (10%))**オフィスアワー**

日時:月~金 16:30~18:00

場所:本館5階 微生物学研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	6日	高橋 幸裕	ユニット1:微生物学入門	1)微生物学とは何かを述べる。(A-4-1-1) 2)病原微生物学の歴史を記述する。(A-4-1-1)
		準備学習内容	教科書「はじめに」「口絵」および pp.2-11 を参照し予習	
4月	13日	高橋 幸裕	ユニット2:細菌の分類・形態と生理・生化学	1)細菌の分類と形態を説明する。(A-4-1-1) 2)細菌の微細構造について列記する。(A-4-1-1) 3)エネルギー代謝について述べる。(A-4-1-1) 4)増殖と培養について説明する。(A-4-1-1) 5)鞭毛運動と走化性について述べる。(A-4-1-1)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.12-39 を参照し予習	
4月	20日	高橋 幸裕	ユニット3:遺伝と分子生物学	1)遺伝子の複製と形質発現について述べる。(A-4-1-1) 2)プラスミドとファージを記述する。(A-4-1-1) 3)遺伝子の伝播について説明する。(A-4-1-1) 4)代謝の遺伝的調節について説明する。(A-4-1-1)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.20-21 40-46 を参照し予習	
5月	11日	高橋 幸裕	ユニット4:化学療法	1)抗菌薬の種類を列挙する。(A-4-1-6) 2)抗菌薬の作用機序について述べる。(A-4-1-6) 3)抗菌薬耐性の機序を述べる。(A-4-1-7) 4)抗菌薬耐性の遺伝学について記述する。(A-4-1-7)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.9-10 383-409 を参照し予習	
5月	18日	高橋 幸裕	ユニット5:滅菌・消毒	1)滅菌と消毒について述べる。(A-4-1-8) 2)バイオハザードについて述べる。(A-4-1-8) 3)院内感染について知る。(A-4-1-9)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.370-382 を参照し予習	
5月	25日	高橋 幸裕	ユニット6:免疫・生体防御学入門	1)免疫学の発達の歴史を述べる。(A-4-2-1) 2)免疫の概念について説明する。(A-4-2-1) 3)自然免疫と獲得免疫の異同を記述する。(A-4-2-1)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.6-8 70-74 210-213 を参照し予習	
6月	8日	高橋 幸裕	ユニット7:感染と感染症・生体防御	1)感染と感染症について説明する。(A-4-1-2) 2)自然免疫の種類と機能の概要について述べる。(A-4-2-1) 3)獲得免疫の種類と機能の概要について述べる。(A-4-2-2)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.216-226を参照し予習	
6月	15日	高橋 幸裕	ユニット8:細菌の病原性	1)寄生体側から見た細菌のビルレンス(病原性)の概要について述べる。(A-4-1-2) 2)付着因子, 侵入因子, 抵抗性因子を分類する。(A-4-1-2) 3)付着因子, 侵入因子, 抵抗性因子の病原性を説明する。(A-4-1-2)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.48-52 58-64 217 232-235を参照し予習	
6月	22日	高橋 幸裕	ユニット9:内毒素・外毒素	1)内毒素と外毒素を比較する。(A-4-1-2) 2)内毒素の構造を説明する。(A-4-1-2) 3)内毒素の病原性を説明する。(A-4-1-2) 4)外毒素を分類する。(A-4-1-2) 5)外毒素の病原性と作用機序を説明する。(A-4-1-2)
		準備学習内容	配付資料および教科書 p.28表2-3 pp.53-56 を参照し予習	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	29日	田代有美子	ユニット10: グラム陽性球菌	1) <i>Staphylococcus</i> 属, 化膿レンサ球菌, 肺炎レンサ球菌の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) <i>Staphylococcus</i> 属, 化膿レンサ球菌, 肺炎レンサ球菌の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) <i>Staphylococcus</i> 属, 化膿レンサ球菌, 肺炎レンサ球菌による感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.76-84を参照し予習	
7月	6日	田代有美子	ユニット11: グラム陽性桿菌-1	1) ジフテリア菌, リステリア, 放線菌の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) ジフテリア菌, リステリア, 放線菌の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) ジフテリア, リステリア症, 放線菌症の予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.93-97を参照し予習	
7月	9日	田代有美子	ユニット12: グラム陽性桿菌-2	1) 破傷風菌, ボツリヌス菌, ウエルシュ菌, 炭疽菌の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) 破傷風菌, ボツリヌス菌, ウエルシュ菌, 炭疽菌の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) 破傷風, ボツリヌス食中毒, ガス壊疽, 炭疽の予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.88-93を参照し予習	
7月	13日	田代有美子	ユニット13: 抗酸菌	1) <i>Mycobacterium</i> 属の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-2) 2) 結核菌の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) 結核, ハンセン病, 非定型抗酸菌症の予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.98-100を参照し予習	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	6日	春原 正隆	ユニット1:解剖学総論, 骨学総論	1) 系統解剖学の概要を説明する。(A-3-1) 2) 解剖学用語を列記する。(A-3) 3) 骨学の概要を説明する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P1-6を読み要点を確認する。	
4月	13日	鈴木 金吾	ユニット2:全身の骨	1) 体幹(頭部を除く)の骨の名称と形態学的特徴を説明する。(A-3-1-2-1) 2) 上肢・下肢の骨の名称と形態学的特徴を説明する。(A-3-1-2-1) 3) 関節の基本構造を説明する。(A-3-1-2-1) 4) 全身の主要な関節を列挙する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P7-19を読み要点を確認する。	
4月	20日	前田 祐貴	ユニット3:筋学総論, 全身の筋	1) 筋学の概要を説明する。(A-3-1-3-3) 2) 体幹(頭部を除く)を構成する筋の名称と形態学的特徴を説明する。(A-3-1-3-3) 3) 上肢・下肢の筋の名称と形態学的特徴を説明する。(A-3-1-3-3)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P20-22を読み要点を確認する。	
5月	11日	井出 吉昭	ユニット4:神経学総論, 中枢神経系	1) 神経学の概要を説明する(神経系の分類, 神経系の組織構造)。(A-3-1-5) 2) 中枢神経系の概要を説明する。(A-3-1-5-4) 3) 脳の区分と構造を説明する。(A-3-1-5-4) 4) 脳室と脳脊髄液を説明する。(A-3-1-5-4) 5) 大脳の構造を説明する。(A-3-1-5-4)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P66-80を読み要点を確認する。	
5月	18日	井出 吉昭	ユニット5:中枢神経系, 末梢神経系	1) 脳幹の構造と脳神経核の位置を説明する。(A-3-1-5-4) 2) 脊髄の構造を説明する。(A-3-1-5-4) 3) 伝導路の経路とその意義を説明する。(A-3-1-5-4) 4) 大脳皮質の機能局在について説明する。(A-3-1-5-4) 5) 末梢神経系の概要を説明する。(A-3-1-5-1) 6) 脊髄神経の名称と走行を説明する。(A-3-1-5-1) 7) 自律神経の概要を説明する。(A-3-1-5-3, A-3-2-7)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P66-80を読み要点を確認する。	
5月	25日	井出 吉昭	ユニット6:脳神経の概要	1) 脳神経の概要を説明する。(A-3-1-5-1, A-3-2-6) 2) 脳神経の走行と主な働きを説明する。(A-3-1-5-1, A-3-2-6) 3) 脳神経が通る頭蓋底の孔を列記する。(A-3-1-5-1, A-3-2-6)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P80-88を読み要点を確認する。	
6月	8日	鈴木 金吾	ユニット7:内臓学総論, 消化器系	1) 内臓学の概要を説明する。(A-3-1) 2) 消化管について説明する。(A-3-1-7-1) 3) 消化腺について説明する。(A-3-1-7-2)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P97-105を読み要点を確認する。	
6月	15日	坂井 建雄	ユニット8:脈管学総論, 心臓, 動脈	1) 脈管学の概要を説明する。(A-3-1-4) 2) 心臓の構造を説明する。(A-3-1-4-1) 3) 全身の主要な動脈を説明する。(A-3-1-4-2)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P40-65を読み要点を確認する。	
6月	22日	坂井 建雄	ユニット9:動脈, 静脈, リンパ系	1) 全身の主要な動脈を説明する。(A-3-1-4-2) 2) 全身の主要な静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) リンパ系の概要を説明する。(A-3-1-4-6)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P40-65を読み要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	29日	春原 正隆	ユニット10: 脈管学総括	1) 心臓の構造を説明する。(A-3-1-4-1) 2) 全身の主要な動脈を説明する。(A-3-1-4-2) 3) 全身の主要な静脈を説明する。(A-3-1-4-2) 4) リンパ系の概要を説明する。(A-3-1-4-6)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P40-65を読み要点を確認する。	
7月	6日	春原 正隆	ユニット11: 頭頸部の内臓 ①	1) 口腔の区分と構造を説明する。(A-3-3-1) 2) 舌の構造と神経支配を説明する。(A-3-3-3) 3) 唾液腺の構造と支配神経を説明する。(A-3-3-7)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P208-232を読み要点を確認する。	
7月	9日	春原 正隆	ユニット12: 頭頸部の内臓 ②	1) 口蓋の構造を説明する。(A-3-3-4) 2) 口蓋の筋と支配神経を説明する。(A-3-2-4, A-3-3-4) 3) 咽頭の構造を説明する。(A-3-2-12, A-3-2-15) 4) 咽頭の筋を説明する。(A-3-2-12) 5) 喉頭の構造を説明する。 (A-3-2-13, A-3-2-14, A-3-2-15) 6) 喉頭の筋を説明する。(A-3-2-13)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P208-232を読み要点を確認する。	
7月	13日	春原 正隆	ユニット13: 総括	1) 学習項目を列記する。(C-2-1) 2) 各項目の理解度を調べる。(C-2-1) 3) 習得した知識を適用する。(C-2-1)
		準備学習内容	ユニット1-12で学習した内容を改めて確認する。	

科目名

解剖学実習

曜日 時間

月

13:00～15:50

本学期的到達目標(GIO)

解剖学実習を通じ、献体の理念と意義、生命の尊厳および医の倫理を学び、全身の骨、筋、脈管、神経および頭頸部の諸構造の形態的特徴と機能を理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
J.W.Rohen 他著	解剖学カラーアトラス	原書 第8版	医学書院
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一, 春原正隆 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
伊藤 隆 著	解剖学講義	第3版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴, 上野隆治, 山下恭嗣, 坂井建雄, 隅田由香, 河合泰輔, 小倉 晋

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(40%)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
- ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
- 観察記録(10%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
- その他(出席・提出物(50%))

オフィスアワー

日時: 毎週月曜日 16:00～17:30
 場所: 本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	6日	鈴木 金吾 井出 吉昭	ユニット1:骨学実習(全身の骨格, 頭蓋骨)	1) 全身の骨格を構成する骨の名称を列挙する。(A-3-1-2-1) 2) 頭蓋骨15種23個を説明する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版 P7-19を読み要点を確認する。	
4月	13日	鈴木 金吾 井出 吉昭	ユニット2:骨学実習(体幹の骨格, 頭蓋骨)	1) 椎骨の部位の名称を列挙する。(A-3-1-2-1) 2) 椎骨の基本的な形態を説明する。(A-3-1-2-1) 3) 胸郭の構成要素と骨名を説明する。(A-3-1-2-1) 4) 体幹の主要な関節の名称と構成要素を説明する。(A-3-1-2-1) 5) 頭蓋骨15種23個を説明する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版 P9-13を読み要点を確認する。	
4月	20日	鈴木 金吾	ユニット3:骨学実習(体肢の骨格) <講堂> 画像問題演習	1) 上肢・下肢を構成する骨の名称を列挙する。(A-3-1-2-1) 2) 上肢・下肢の骨の形態を説明する。(A-3-1-2-1) 3) 体肢の主要な関節の名称と構成要素を説明する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版 P13-19を読み要点を確認する。	
5月	11日	坂井 建雄	ユニット4:解剖学実習入門(講堂)	1) 人体解剖の歴史を説明する。(C-1-1-1) 2) 献体の理念と意義を説明する。(C-1-1-1) 3) 医の論理と献体を関連づける。(C-1-1-1) 4) 解剖学実習における注意事項を述べる。(C-1-1-1)
		準備学習内容	レジュメを読み要点を確認する。	
5月	18日	春原 正隆	ユニット5:体幹, 上・下肢の剥皮 <講堂> 画像問題演習	1) 人体の構造の指標となる部位を体表で調べる。(A-3) 2) 体幹, 上・下肢の剥皮を実施する。(A-3-1-1-1)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
5月	25日	春原 正隆	ユニット6:体幹, 上・下肢の皮静脈, 皮神経の観察 <講堂> 画像問題演習	1) 皮静脈の走行を調べる。(A-3-1-4-2) 2) 皮神経の走行を調べる。(A-3-1-5-1)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
6月	8日	春原 正隆	ユニット7:体幹, 上・下肢浅層の筋の観察 <講堂> 画像問題演習	1) 上・前腕浅層の屈筋と伸筋を調べる。(A-3-1-3-3) 2) 大腿浅層の伸筋, 屈筋, 内転筋を調べる。(A-3-1-3-3) 3) 下腿浅層の伸筋, 屈筋, 腓骨筋を調べる。(A-3-1-3-3) 4) 大胸筋の起始と停止について調べる。(A-3-1-3-3) 5) 腹直筋について調べる。(A-3-1-3-3) 6) 外腹斜筋について調べる。(A-3-1-3-3) 7) 寛骨外筋浅層の大殿筋を調べる。(A-3-1-3-3)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
6月	15日	春原 正隆	ユニット8:体幹, 上・下肢深層の筋の観察 <講堂> 特別講義:顎顔面補綴にかかわる解剖学(隅田由香先生 歯科補綴学第1講座)	1) 上・前腕深層の屈筋と伸筋を調べる。(A-3-1-3-3) 2) 大腿深層の伸筋, 屈筋, 内転筋を調べる。(A-3-1-3-3) 3) 下腿深層の伸筋, 屈筋を調べる。(A-3-1-3-3) 4) 側腹筋の起始と停止について調べる。(A-3-1-3-3) 5) 側腹筋と腹直筋について調べる。(A-3-1-3-3) 6) 開胸・開腹の準備として大胸筋, 小胸筋と側腹筋を切断する。(A-3-1-3-3) 7) 寛骨外筋深層の中・小殿筋と梨状筋を調べる。(A-3-1-3-3)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	22日	春原 正隆	ユニット9:開胸・開腹 <講堂> 画像問題演習	1) 鎖骨を外し、鎖骨下にある動・静脈の走行について調べる。(A-3-1-4-2) 2) 開胸・開腹を実施する。(A-3-1-4-1, A-3-1-7-1) 3) 胸膜・心膜・腹膜について調べる。(A-3-1-4-1, A-3-1-7-1, A-3-1-8-2) 4) 心臓・肺・肝臓・胃・小腸・大腸の位置関係について調べる。(A-3-1-4-1, A-3-1-7, A-3-1-8)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
6月	29日	春原 正隆	ユニット10:頭頸部の剥皮 <講堂> 画像問題演習	1) 頭頸部の剥皮を行う。(A-3-1-1-1) 2) 頭頸部皮静脈の走行を調べる。(A-3-1-4-2, A-3-2-5) 3) 頭頸部皮神経の走行を調べる。(A-3-1-5-1, A-3-2-6)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
7月	6日	春原 正隆	ユニット11:頭頸部浅層の観察 <講堂> 画像問題演習	1) 主な顔面筋(表情筋)を剖出する。(A-3-2-3) 2) 顔面筋(表情筋)と顔面神経との関係を調べる。(A-3-2-3, A-3-2-6) 3) 胸鎖乳突筋と支配神経について調べる。(A-3-2-3, A-3-2-6) 4) 耳下腺・顎下腺の位置と形態を確認する。(A-3-3-7)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
7月	9日	春原 正隆	ユニット12:頭頸部の深層の観察 <講堂> 特別講義:解剖学と歯科インプラント(河合泰輔先生, 歯科放射線学講座/小倉晋先生, 口腔インプラント診療科)	1) 咀嚼筋を剖出する。(A-3-2-4) 2) 総頸動脈, 外・内頸静脈, 迷走神経の3次元的位置関係と走行について調べる。(A-3-2-5, A-3-2-6) 3) 外頸動脈の分枝を剖出する。(A-3-2-5)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し、実習の手順を確認する。	
7月	13日	春原 正隆	ユニット13:まとめ(講堂)	1) 献体の意義を説明する。(C-1-1-1) 2) 剖出部の名称を列挙する。(A-3-1) 3) CBT形式で実習試験を実施する。(A-3-1)
		準備学習内容	実習試験に向けた準備を行う。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	7日	五味 治徳	ユニット1:スポーツ歯学の概要	1)スポーツ歯学の概要を説明する。(C-4-1-1) 2)スポーツデンティストの役割を説明する。(C-1-3-2) 3)スポーツ医・科学サポートの概要を述べる。(C-4-1-1) 4)運動・スポーツと生活習慣病との関わりを説明する。(C-4-1-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
4月	14日	森谷 順子	ユニット2:スポーツのための栄養補給	1)スポーツのための栄養の目的と特徴を説明する。(E-5-2-4) 2)一般的なスポーツ選手の食事を説明する。(E-5-2-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
4月	21日	塩谷 伊毅	ユニット3:ドーピング・コントロール	1)禁止物質を列挙する。(A-6-1-1) 2)ドーピング防止プログラムを説明する。(A-6-4-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
5月	12日	山瀬 勝	ユニット4:スポーツのためのデンタルチェック	1)デンタルチェックの目的と意義を理解する。(E-2-1-1-3) 2)デンタルチェックの診査および検査項目を説明する。(E-2-2-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
5月	19日	安井 利一 【特別講義】	ユニット5:咬合と全身との関わり	1)神経・筋機能および平衡機能の運動生理を説明する。(A-3-2-3) 2)咬合と運動機能ならびに平衡機能との関係を説明する。(A-3-2-5)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
5月	26日	松野 智宣	ユニット6:口腔顎顔面領域のスポーツ障害(1)	1)口腔顎顔面領域のスポーツ障害の特徴と種類を説明する。(D-3-1-2-1) 2)口腔顎顔面領域のスポーツ障害の診断・治療を説明する。(D-3-1-2-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
6月	2日	北村 和夫	ユニット7:口腔顎顔面領域のスポーツ障害(2)	1)歯冠破折の診断・治療について述べる。(D-3-1-2-3) 2)歯根破折の診断・治療について述べる。(D-3-1-2-3) 3)歯の脱臼の対応と処置について述べる。(D-3-1-2-3)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
6月	9日	白瀬 敏臣	ユニット8:小児におけるスポーツ外傷	1)小児の歯の外傷の特徴を説明する。(D-5-6-6) 2)乳歯の外傷に対する処置について述べる。(D-5-6-6) 3)幼若永久歯の外傷に対する処置について述べる。(D-5-6-6)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
6月	16日	石垣 佳希	ユニット9:スポーツ障害に対する救急対応	1)スポーツ現場における救急処置を説明する。(E-1-2-2) 2)救急処置の基本的な手技を述べる。(E-1-2-2) 3)顎口腔系以外のスポーツ障害に対する基本的な救急処置を説明する。(E-1-2-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
6月	23日	五味 治徳	ユニット10:スポーツ障害の安全対策	1)健康管理について述べる。(C-4-1-1) 2)スポーツの種目特性を説明する。(D-5-1-7) 3)防具の種類を列記する。(B-2-2) 4)マウスガードの目的と意義を説明する。(C-5-7) 5)マウスガードの種類およびその特徴を説明する。(B-2-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	30日	高橋 睦	ユニット11: スポーツデン ティスト活動	1) スポーツ医・科学サポートの概要を説明する。 (C-4-1-1) 2) 口腔と身体機能との関連を説明する。(C-4-1-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
7月	7日	宮下 渉	ユニット12: マウスガード (1)	1) マウスガード用材料の構造と特性を説明する。 (B-2-2) 2) サーマフォーミングマシンの特性と基本的操作を 説明する。(B-3-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	
7月	14日	五味 治徳	ユニット13: マウスガード (2)	1) マウスガードの製作に必要な検査および前処置を説明 できる。(D-2-2-1) 2) マウスガードの使用上の注意事項とメンテナンスを 説明する。(B-2-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードし、要点を確認する。	

科目名

歯科理工学

曜日 時間

火 10:30 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

歯科材料の概念を理解するために、一般教育科目で履修した知識を整理し、その作製法や使用法についての知識を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
中嶋 裕, 宮崎 隆, 米山隆之:編集幹事	スタンダード歯科理工学—生体材料と歯科材料—	第8版	学建書院

担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 高橋英和, 青柳有祐

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(60%)
 論述試験(30%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
- ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
- 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
- その他(プレ・ポストテスト(10%))

オフィスアワー

日時:毎週 火曜日 12:10~13:00
 場所:本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 7日	高橋 英和	ユニット1: 歯科材料の種類と構造	1) 歯科理工学の目的・意義を理解する。(B-1-1) 2) 物理的性質を説明する。(B-1-1) 3) 化学的性質を説明する。(B-1-2) 4) 材料の生体刺激性, アレルギーを説明する。(B-1-3)
	準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科材料概論(1~5頁)」, 「材料の種類と構造(7~26頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
4月 14日	高橋 英和	ユニット2: 歯科材料の機械的性質	1) 応力とひずみを説明する。(B-1-1) 2) 応力-ひずみ曲線と関連する諸性質の材料選択上の意義を説明する。(B-1-1) 3) 塑性変形を説明する。(B-1-1)
	準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「材料の性質(27~51頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
4月 21日	高橋 英和	ユニット3: 歯科材料のその他の物理的性質, 化学的性質, 生物学的性質	1) 強さの種類, 性質を説明する。(B-1-1) 2) 硬さの種類, 性質を説明する。(B-1-1) 3) 粘弾性を説明する。(B-1-1)
	準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「生体材料の安全性と適合性(53~64頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	12日	石田 祥己	ユニット4: 印象材トレーの種類, 印象材の分類, ハイドロコロイド印象材	1) 印象材トレーの種類を説明する。(B-3-2) 2) 印象材の分類, 種類を説明する。(B-3-2) 3) 印象材の所要性質を説明する。(B-3-2) 4) 寒天印象材の特徴を説明する。(B-3-2) 5) アルジネート印象材の特徴を説明する。(B-3-2)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「印象用材料」の「印象採得の技術的考察(138~146頁)」、「寒天印象材(120~124頁)」、「アルジネート印象材(124~127頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
5月	19日	石田 祥己	ユニット5: ゴム質印象材, 非弾性印象材, ダイナミック印象材	1) シリコーンゴム印象材の特徴を説明する。(B-3-2) 2) ポリエーテルゴム印象材の特徴を説明する。(B-3-2) 3) ポリサルファイドゴム印象材の特徴を説明する。(B-3-2) 4) 酸化亜鉛ユーージノール印象材の特徴を説明する。(B-3-2) 5) モデリングコンパウンド印象材の特徴を説明する。(B-3-2) 6) ダイナミック印象材の特徴を説明する。(B-3-2)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「印象用材料」の「シリコーンゴム印象材(127~130頁)」、「ポリエーテルゴム印象材(131~132頁)」、「ポリサルファイドゴム印象材(132~133頁)」、「酸化亜鉛ユーージノール印象材(133~135頁)」、「モデリングコンパウンド(135~137頁)」、「ダイナミック印象材(137~138頁)」、「咬合採得用材料(147頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
5月	26日	三浦 大輔	ユニット6: 模型材, 歯科用ワックス	1) 歯科用石膏の所要性質を説明する。(B-3-2) 2) 石膏の原料と製造法を説明する。(B-3-2) 3) 歯科用石膏を分類する。(B-3-2) 4) 歯科用石膏の硬化機構を説明する。(B-3-2) 5) 歯科用石膏の性質を説明する。(B-3-2) 6) 石膏系模型材の使用時の注意を記述する。(B-3-2) 7) ワックスの所要性質を説明する。(B-3-2) 8) ワックスを使用目的により分類する。(B-3-2) 9) ワックスの組成, 特性を説明する。(B-3-2)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「模型用材料(149~156頁)」、「歯科用ワックス(157~164頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
6月	2日	三浦 大輔	ユニット7: 加熱重合型床用レジン, 常温重合型床用レジン, その他の床用レジンおよび人工歯	1) 加熱重合レジンの組成を説明する。(B-2-2) 2) 加熱重合レジンの硬化機構を説明する。(B-2-2) 3) 加熱重合レジンの性質を説明する。(B-2-2) 4) 加熱重合レジンの特徴を説明する。(B-2-2) 5) 常温重合レジンの組成を説明する。(B-2-2) 6) 常温重合レジンの硬化機構を説明する。(B-2-2) 7) 常温重合レジンの性質を説明する。(B-2-2) 8) 常温重合レジンの特徴を記述する。(B-2-2) 9) 射出成型レジンについて説明する。(B-2-2)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「義歯用材料」の「概要(273~275頁)」、「床用レジン: 加熱重合型床用メチルメタクリレートレジン(275~283頁)」、「床用レジン: 常温重合型床用メチルメタクリレートレジン, その他の床用レジン(283~288頁)」、「人工歯(288~306頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
6月	9日	三浦 大輔	ユニット8: 成形修復材料Ⅰ	1) コンポジットレジンの説明する。(B-2-1) 2) コンポジットレジンの組成, 重合方法, 硬化機構を説明する。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「成形修復材料」の「概論(73~75頁)」、「コンポジットレジン(75~96頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
6月	16日	三浦 大輔	ユニット9: 成形修復材料Ⅱ	1) グラスアイオノマーセメントを説明する。(B-2-1) 2) グラスアイオノマーセメントの組成, 重合方法, 硬化機構を説明する。(B-2-1) 3) 歯科用アマルガムを説明する。(B-2-1) 4) 歯科用アマルガムの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(B-2-1) 5) 各材料の特徴を列記する。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「成形修復材料」の「グラスアイオノマーセメント(96~102頁)」、「歯科用アマルガム(102~104頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
6月	23日	青柳 有祐	ユニット10: 歯冠用硬質レジン	1) 歯冠用硬質レジン説明する。(B-2-1) 2) 歯冠用硬質レジンの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(B-2-1) 3) レジン前装冠の作製手順を説明する。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯冠補綴用レジン(243~252頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	30日	石田 祥己	ユニット11:金属の基礎	1) 金属の特性を説明する。(B-2-1) 2) 合金の特性を説明する。(B-2-1) 3) 合金の種類を列記する。(B-2-1) 4) 結晶粒と結晶粒界を説明する。(B-2-1) 5) 結晶成長を説明する。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「概要(165頁)」、「合金の状態図(165~175頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
7月	7日	石田 祥己	ユニット12:合金Ⅰ	1) 歯科用合金を分類し列記する。(B-2-1) 2) 貴金属の基本的性質を説明する。(B-2-1) 3) 鑄造用金合金の組成と性質を説明する。(B-2-1) 4) 加工用金合金の組成と性質を説明する。(B-2-1) 5) 陶材焼付用合金の特徴を列記する。(B-2-1) 6) 銀合金組成の特徴を説明する。(B-2-1) 7) 金銀パラジウム合金を説明する。(B-2-1) 8) インジウム添加銀合金およびその他の銀合金について述べる。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「歯科用合金(175~189頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
7月	14日	石田 祥己	ユニット13:合金Ⅱ	1) 非貴金属合金の特徴を列記する。(B-2-1) 2) コバルトクロム合金を説明する。(B-2-1) 3) チタンおよびチタン合金について説明する。(B-2-1) 4) ステンレス鋼について説明する。(B-2-1) 5) 磁性合金について説明する。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「歯科用合金(175~189頁)」、「歯科用磁性合金(193頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	

科目名

生理学

曜日 時間

火

13:00 ~ 14:20

本学期的到達目標(GIO)

歯科医学と歯科医療を理解するために必要な生体の正常機能(全身機能および口腔機能)に関する具体的な知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

岩田幸一, 井上富雄, 船橋 誠, 加藤隆史 編

基礎歯科生理学

7

医歯薬出版

春日 雅人, 北村 聖, 大西 宏明 編

臨床検査データブック[コンパクト版]

13

医学書院

担当者一覧

佐伯周子, 肖 黎, 井出良治, 橋爪那奈, 佐藤義英

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(70%) 論述試験(10%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(中間試験 (20%))**オフィスアワー**

日時:月~金曜日 16:30~17:30

場所:本館5階 生理学講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	7日	井出 良治	ユニット1:細胞	1)細胞内小器官を列記する。(A-1-4-1) 2)細胞内小器官の役割を記述する。(A-1-4-1) 3)細胞接着の機構を説明する。(A-1-5-1) 4)ホルモン, 成長因子, サイトカイン等の受容体を介する細胞情報伝達機構を説明する。(A-1-5-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p2-15を参考に要点を確認する。	
4月	14日	佐伯 周子	ユニット2:生理学総論・興奮性膜	1)神経の活動電位の発生と伝導の機序を説明する。(A-3-1-5-7) 2)電位依存性イオンチャネルの特性を述べる。(A-3-1-5-7) 3)活動電位の発生とイオンコンダクタンスの関係を述べる。(A-3-1-5-7) 4)ニューロンとグリアの構造と機能を説明する。(A-3-1-5-6)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p2-23, p50を参考に要点を確認する。	
4月	21日	佐伯 周子	ユニット3:神経の興奮伝導・伝達	1)有髄・無髄神経の興奮伝導について述べる。(A-3-1-5-7) 2)興奮伝導の法則について列記する。(A-3-1-5-7) 3)化学及び電気シナプスの概念を説明する。(A-3-1-5-8) 4)シナプスにおける伝達物質の放出機構を述べる。(A-3-1-5-8) 5)シナプス伝達の機序と神経伝達物質を説明する。(A-3-1-5-8) 6)細胞間のシグナル伝達と受容体について記述する。(A-3-1-5-8) 7)細胞内情報伝達物質について列記する。(A-3-1-5-8)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p23-42, p50を参考に要点を確認する。	
5月	12日	橋爪 那奈	ユニット4:感覚総論	1)特殊感覚, 体性・内臓感覚の違いを説明する。(A-3-1-6-1), (A-3-1-6-2) 2)末梢神経について説明する。(A-3-1-5-1) 3)閾値, 適刺激, 順応について述べる。(A-3-1-5-2) 4)一次体性感覚野の特徴を記述する。(A-3-1-6-2) 5)痛覚の生理的意義について列記する。(A-3-1-6-4) 6)炎症性, 神経因性疼痛について説明する。(A-3-1-6-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書第10章(p180-220)を参考に要点を確認する。	
5月	19日	橋爪 那奈	ユニット5:口腔感覚	1)口腔・顔面の感覚受容器分布とその特徴を述べる。(A-3-1-6-2) 2)歯髄で生じる感覚の特徴を列記する。(A-3-2-6) 3)歯根膜感覚の特徴と生理的役割を列記する。(A-3-2-6)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書第10章(p180-220)を参考に要点を確認する。	
5月	26日	肖 黎	ユニット6:自律神経	1)自律神経の機能的特徴を列記する。(A-3-1-5-3) 2)各臓器に対する自律神経の作用を記述する。(A-3-1-5-3) 3)自律神経系の神経伝達物質を列記する。(A-3-1-5-3) 4)自律神経反射の具体例を記述する。(A-3-1-5-3)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p279-294を参考に要点を確認する。	
6月	2日	佐伯 周子	ユニット7:中間試験	1)前回までの学習内容を整理・再確認する。
		準備学習内容	教科書, 講義資料等に目を通してこれまでの授業内容を把握する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	9日	井出 良治	ユニット8:筋の収縮	1)筋について説明する。(A-3-1-3-1) 2)筋組織の分類について説明する。(A-3-1-3-1) 3)興奮収縮関連について述べる。(A-3-1-3-2) 4)筋収縮の型について述べる。(A-3-1-3-2) 5)筋紡錘, γ -運動ニューロンの機能を説明する。(A-3-1-3-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p42-50を参考に要点を確認する。	
6月	16日	肖 黎	ユニット9:味覚・嗅覚	1)味覚閾値に影響する因子を列記する。(A-3-1-6-1) 2)味覚受容器と味覚情報変換機構を説明する。(A-3-1-6-1) 3)味覚情報の中枢性伝達経路を説明する。(A-3-1-6-1) 4)嗅覚細胞における嗅いの受容機構を説明する。(A-3-1-6-1) 5)特殊感覚を分類する。(A-3-1-6-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p322-355を参考に要点を確認する。	
6月	23日	佐藤 義英	ユニット10:顎運動・咀嚼	1)顎運動と咀嚼筋の関連について述べる。(A-3-2-4) 2)咀嚼運動の神経機構について説明する。(A-3-2-9)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p356-372, p379-399を参考に要点を確認する。	
6月	30日	橋爪 那奈	ユニット11:呼吸	1)呼吸の概念を説明する。(A-3-1-8-1) 2)肺の形態と機能を具体的に述べる。(A-3-1-8-2) 3)肺におけるガス交換を説明する。(A-3-1-8-2) 4)呼吸調節機構を具体的に列挙する。(A-3-1-8-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p103-122を参考に要点を確認する。	
7月	7日	佐伯 周子	ユニット12:心臓と循環	1)心筋の興奮伝導性を説明する。(A-3-1-3-1) 2)正常心電図の波形を説明する。(A-3-1-4-1) 3)細動脈・毛細血管・静脈の構造と機能を述べる。(A-3-1-4-3) 4)体循環の血行力学を説明する。(A-3-1-4-2) 5)循環調節機構を分類する。(A-3-1-4-4) 6)動脈圧受容器反射を説明する。(A-3-1-4-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p76-102を参考に要点を確認する。	
7月	14日	佐伯 周子	ユニット13:腎機能・心電図	1)体液調節について述べる。(A-3-1-10-2) 2)腎機能の概要を列挙する。(A-3-1-10-1) 3)糸球体濾過と再吸収, 分泌について述べる。(A-3-1-10-1) 4)腎不全を評価する。(A-3-1-10-3) 5)心臓の構造と機能を説明する。(A-3-1-4-1) 6)心電図の記録法について述べる。(A-3-1-4-1) 7)心電図の概念を説明する。(A-3-1-4-1) 8)心電図の結果と疾患の関係を説明する。(A-3-1-4-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p59-75, p81-83を参考に要点を確認する。	

科目名

プロフェッショナルリズム2

曜日 時間

火 14:30 ~ 15:50

本学期的到達目標(GIO)

総合的に患者・生活者を支える歯科医療を提供していくために、自己研鑽に努め、社会の一員として果たすべき役割と国際社会における多様性を理解し、生涯を通じて歯科医師としての職責を果たすための自覚と知識・態度を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

講義担当者

講義配付資料(プリント等)

担当者一覧

菊池憲一郎, 添野雄一, 葛城啓彰, 鈴木章弘, 前野雅彦, 井出吉昭, 角 忠輝, 井出勝久, 田副真美, 秋山仁志, 石黒一美, 武田裕子, 鈴木將之, 河合泰輔, 岩田 洋, 浅海利恵子, 永浦まどか, 岡田智雄, 赤間亮一, 相澤直依

学習方略

講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(%) 論述試験(%) 口頭試験(%) レポート(80 %)
 ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%)
 観察記録(20%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他((%))

オフィスアワー

日時: 毎授業後~18:00
 場所: 各ユニットの講義室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 7日	添野 雄一	ユニット1: イントロダクション	1) 歯科医師を目指して学ぶ意義を考える。 2) 自らの行動の根拠を考える。 3) 自己研鑽の方略を考える。
	準備学習内容	歯学生としての1年間を振り返り, 目標や計画について整理する。	
4月 14日	添野 雄一	ユニット2: 対話型鑑賞①	1) 絵画を見て, 観察力・推察力を磨く。 2) 絵画から得られる情報を元に, 論理的思考力, 多面的思考力, 批判的思考を養う。 3) 自分の考えを言語化して他者に伝える。 4) 多様性のある他者の意見を受容する。
	準備学習内容	観察する, 推察する, 思考する, 伝える, とはどういうことか調べる。	
4月 21日	添野 雄一	ユニット3: 対話型鑑賞②	1) 絵画を見て, 観察力・推察力を磨く。 2) 絵画から得られる情報を元に, 論理的思考力, 多面的思考力, 批判的思考を養う。 3) 自分の考えを言語化して他者に伝える。 4) 多様性のある他者の意見を受容する。 5) 想像したことを他者と協調して具現化する表現力を身に付ける。
	準備学習内容	論理的に考える, 多面的に考える, 批判的に考える, について整理する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	12日	角 忠輝 (4・5限連続)	ユニット4・5:社会が求めるプロフェッションとは?	1) 歯科医師に課せられた法的責任と社会的責任(刑事責任, 民事責任, 歯科医師法と健康保険法に基づく行政処分)を理解する。 2) 医の倫理と生命倫理, 患者の権利に関する規範, 国際規範の歴史的経緯と諸問題を理解する。 3) 医療, 保健, 福祉, 介護における多職種連携と歯科医師の役割を理解する。
		準備学習内容	これまでに学んだ「プロフェッション」について整理する。	
5月	19日	井出 勝久	ユニット6: 歯科医療機器に求められる要件①	1) PMDA(医薬品医療機器総合機構)について説明する。 2) 歯科治療で使用する製品について法規制の対象範囲を考える。 3) 歯科医療機器を適切に使用する上で必要な情報の収集方法を理解する。
		準備学習内容	PMDAについて調べる。	
5月	26日	井出 勝久	ユニット7: 歯科医療機器に求められる要件②	1) 市販前の歯科医療機器の安全性及び有効性の評価方法を理解する。 2) 理想的な歯科医療機器の創造のために, 活用可能な評価指標とその情報収集方法を理解する。 3) 歯科医師のキャリアパスに応じて必要となる歯科医療機器に関する知識を考える。
		準備学習内容	前ユニットの課題に基づいて周辺情報を調べる。	
6月	2日	田副 真美	ユニット8: ストレスマネジメント	1) 自分にとってのストレスを考える。 2) ストレスによって自身に生じる身体的, 精神的変化を考える。 3) 自分のストレスと向き合い, 対応する方法を考える。
		準備学習内容	ストレスについて調べる。	
6月	9日	(予備日)	(ユニット5実施済)	
		準備学習内容		
6月	16日	秋山 仁志 前野 雅彦	ユニット9: キャリアプランニング	1) 歯科医師としてのキャリアを考える。 2) ライフステージに応じた働き方を考える。 3) ダイバーシティを尊重した個人と社会の取り組みを考える。 4) ワーク・ライフ・バランスを考える。
		準備学習内容	キャリア, 働き方(ワークライフバランス)について調べる。	
6月	23日	石黒 一美	ユニット10: 健康の社会的決定要因(SDH)①	1) 健康格差の現状を説明できる。 2) 健康格差をもたらす社会的要因について列挙できる。 3) 健康格差の社会的要因に対し, 歯科医療者として役割を果たせるか述べるができる。
		準備学習内容	健康, 健康格差について調べる。	
6月	30日	武田 裕子	ユニット11: 健康の社会的決定要因(SDH)②	1) SDHに関する他者の意見を聞き, 自分の考えとの相違を考察する。 2) 得られた情報から自身の考えを発表できる。
		準備学習内容	SDHについて調べる。	
7月	7日	鈴木 将之 (4・5限連続)	ユニット12・13: 国際医療への貢献	1) 我が国と他国の文化的背景や価値観の多様性を知る。 2) 日本の医療の特徴を理解し, 国際社会への貢献の意義を理解している。 3) 医療に関わる国際協力の重要性を理解し, 仕組みを説明できる。
		準備学習内容	日本の医療, 他国の医療, 医療に関わる国際協力について調べる。	
7月	14日	(予備日)	(ユニット13実施済)	
		準備学習内容		

科目名

生化学

曜日 時間

水 9:00~10:20

本学期的到達目標(GIO)

歯科医学・医療の基礎を生化学的・分子生物学的基盤に立脚して理解するために、生体における主要な構成物質の基本構造と代謝経路と遺伝機構と各種検査法を修得する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
荒川俊哉 他	スタンダード生化学・口腔生化学	第4版	学建書院

担当者一覧

才木桂太郎

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(60 %)
 論述試験(40 %)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他()

オフィスアワー

日時:毎週月曜日 8:00 ~ 9:00
 場所:本館6階 生化学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 8日	才木桂太郎	ユニット1:化学の基礎知識	1)化学物質の命名法を列記する。(A-1-1-1) 2)化学結合を記述する。(A-1-1-2) 3)酸と塩基と緩衝作用を説明する。(A-1-1-3) 4)水分子の特徴を説明する。(A-1-1-2)
	準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.2~9, 32~37	読んで要点を確認する。
4月 15日	才木桂太郎	ユニット2:生体分子の構造と機能	1)糖質の種類と構造と機能を列記する。(A-1-2-2) 2)脂質の種類と構造と機能を説明する。(A-1-2-3) 3)核酸の種類と構造と機能を列記する。(A-1-3-2) 4)ビタミンの種類と機能を説明する。(A-1-2-6)
	準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.12~23, 30~31, 49~55	読んで要点を確認する。
4月 22日	才木桂太郎	ユニット3:アミノ酸とタンパク質	1)アミノ酸の種類と構造と特徴を列記する。(A-1-2-1) 2)ペプチドの構造と特徴を記述する。(A-1-2-1) 3)タンパク質の高次構造を説明する。(A-1-2-1) 4)タンパク質の精製法と検出法を列記する。(A-1-2-1)
	準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp., 10~11, 24~29	読んで要点を確認する。

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	13日	才木桂太郎	ユニット4: 酵素反応論	1) 酵素反応速度論を説明する。(A-1-2-5) 2) ミカエリス・メンテンの式を説明する。(A-1-2-5) 3) 酵素反応阻害機構を記述する。(A-1-2-5) 4) 酵素反応の調節を記述する。(A-1-2-5)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.42~48を読んで要点を確認する。	
5月	20日	才木桂太郎	ユニット5: 糖質の代謝と調節 1	1) 糖質の消化と吸収を説明する。(A-1-2-2) 2) 解糖系を説明する。(A-1-2-2) 3) 糖新生とグリコーゲンの代謝を記述する。(A-1-2-2) 4) ペントースリン酸経路を記述する。(A-1-2-2)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.56~59, 64~68を読んで要点を確認する。	
5月	27日	才木桂太郎	ユニット6: 糖質の代謝と調節 2	1) アセチルCoAを説明する。(A-1-2-2) 2) TCA回路を記述する。(A-1-2-2) 3) 電子伝達系を説明する。(A-1-2-4) 4) ATP合成酵素を説明する。(A-1-2-4)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.60~63, 96~101を読んで要点を確認する。	
6月	3日	才木桂太郎	ユニット7: アミノ酸と核酸の代謝	1) アミノ酸の代謝を記述する。(A-1-2-1) 2) 尿素回路を説明する。(A-1-2-1) 3) アミノ酸の誘導物質を列記する。(A-1-2-1) 4) 核酸の代謝を記述する。(A-1-3-2)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.69~73, 93~95を読んで要点を確認する。	
6月	10日	才木桂太郎	ユニット8: 脂質の代謝	1) 脂質の消化と吸収を説明する。(A-1-2-3) 2) 脂質の体内輸送機構を列記する。(A-1-2-3) 3) β 酸化を説明する。(A-1-2-3) 4) ケトン体を記述する。(A-1-2-9)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.74~92を読んで要点を確認する。	
6月	17日	才木桂太郎	ユニット9: 遺伝子情報の発現と伝達 1	1) ゲノムの構造を説明する。(A-1-3-2) 2) 遺伝子の構造を説明する。(A-1-3-2) 3) DNAの複製機構を記述する。(A-1-3-3) 4) セントラルドグマを記述する。(A-1-3-3)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.102~107を読んで要点を確認する。	
6月	24日	才木桂太郎	ユニット10: 遺伝子情報の発現と伝達 2	1) RNA合成(転写)を説明する。(A-1-3-3) 2) RNAの成熟反応を列記する。(A-1-3-3) 3) タンパク質合成(翻訳)を説明する。(A-1-3-3) 4) 翻訳後修飾を記述する。(A-1-3-3)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.108~117を読んで要点を確認する。	
7月	1日	才木桂太郎	ユニット11: バイオテクノロジー	1) 遺伝子組換え技術を列記する。(A-1-3-5) 2) ゲノム編集技術を記述する。(A-1-3-5) 3) 核酸・タンパク質の解析法を列記する。(A-1-3-6) 4) 遺伝子治療法を記述する。(A-1-3-5)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.118~p.129を読んで要点を確認する。	
7月	8日	才木桂太郎	ユニット12: 細胞	1) 細胞構造とオルガネラを記述する。(A-1-4-1) 2) 細胞周期を記述する。(A-1-4-4) 3) 細胞死の種類と機構を記述する。(A-1-4-5) 4) 細胞内の分解系の種類と機構を列記する。(A-1-4-2)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.132~p.146を読んで要点を確認する。	
7月	15日	才木桂太郎	ユニット13: まとめ, 総合討論	1) 生体物質の構造と機能を列記する。(A-1-1-1~7)) 2) 代謝と調節機構を列記する。(A-1-2-1~8) 3) 遺伝情報の発現と伝達を列記する。(A-1-3-1~7) 4) 細胞と情報伝達機構を列記する。(A-1-4-1~5)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 1章~7章を読んで要点を確認する。	

科目名

衛生・公衆衛生学

曜日 時間

水

10:30 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

「地域の公衆衛生の向上・増進および健康の維持・増進に寄与すること」は歯科医師の重要な任務の一つであることを認識する。衛生学・公衆衛生学の基本事項を理解し、実践活動への応用方法を修得する。さらに、国民の保健・福祉の向上のための指導者としての責任を認識する。

教科書・参考書**著者・編集**杉原直樹, 福田雅臣,
川戸貴行 編**書名**

口腔衛生学2026

版

第1版

出版社

一世出版

担当者一覧

田中とも子, 堀江哲郎, 山下万美子, 林田尚斗, 佐藤勝弘, 奥平晴子, 岡田実緒

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(60%) 論述試験(40%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 毎週火曜日 16:00~17:00, および登校日は随時

場所: 本館5階 衛生学講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	8日	林田 尚斗	ユニット1:衛生・公衆衛生学の概論	1) 衛生・公衆衛生の意義と歴史を述べる。(C-5-5) 2) 医の倫理を説明する。(C-1-1-1) 3) インフォームドコンセントを説明する。(C-1-1-4) 4) セカンドオピニオンを説明する。(C-1-1-6) 5) 人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針を説明する。(C-1-1-5) 6) 研究活動における不正行為を列挙する。(C-1-1-5)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
4月	15日	林田 尚斗	ユニット2:予防医学の考え方	1) 健康と疾病の概念を述べる。(C-4-1-1) 2) 健康格差と健康の社会的決定要因を説明する。(C-4-1-1) 3) 行動変容ステージモデルを説明する。(C-5-6) 4) プライマリヘルスケアを説明する。(C-5-3) 5) ヘルスプロモーションを説明する。(C-5-3) 6) ポピュレーションアプローチとハイリスクアプローチを説明する。(C-5-6) 7) 疾病の自然史と疾病予防3相5段階を説明する。(C-5-1) 8) 保健活動の経済的効果の評価指標を列挙する。(C-5-5)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
4月	22日	田中とも子	ユニット3:人口統計(1)	1) 人口情報の把握の意義を述べる。(C-6-2-2) 2) 人口静態統計と国勢調査について説明する。(C-6-2-2) 3) わが国の人口の現状と将来推計について説明する。(C-6-2-3) 4) 人口と保健, 医療, 福祉との関連性を述べる。(C-4-3-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
5月	13日	田中とも子	ユニット4:人口統計(2)	1) 人口動態統計を説明する。(C-6-2-2) 2) 出生および死亡統計の現状を述べる。(C-6-2-3) 3) 生命表を説明する。(C-6-2-3) 4) 平均寿命の推移を述べる。(C-6-2-3)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
5月	20日	佐藤 勝弘	ユニット5:疫学概論	1) 疫学の概念と要因を述べる。(C-6-2-1) 2) 疫学的因果関係の判定基準を列挙する。(C-6-2-1) 3) 疫学の調査方法を概説する。(C-6-2-4) 4) 臨床疫学を概説する。(C-6-2-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
5月	27日	田中とも子	ユニット6:疫学各論(1)	1) 疾病頻度を表す指標を列挙する。(C-6-2-1) 2) 危険曝露人口について説明する。(C-6-2-1) 3) 記述疫学を説明する。(C-6-2-1) 4) 分析疫学を説明する。(C-6-2-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
6月	3日	田中とも子	ユニット7:疫学各論(2)	1) 介入研究について説明する。(C-6-2-1) 2) 無作為化比較試験について説明する。(C-6-2-1) 3) 臨床疫学について説明する。(C-6-2-4) 4) スクリーニングについて説明する。(C-6-1-2) 5) 疫学研究における倫理問題を述べる。(C-6-3-2)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	10日	岡田 実緒	ユニット8:国際協力	1)国際協力の現状を述べる。(C-7-4) 2)国際医療援助に携わる国際機関の役割を説明する。(C-7-2) 3)持続可能な開発目標(SDGs)を列記する。(C-7-4) 4)ユニバーサル・ヘルス・カバレッジを説明する。(C-7-3) 5)WHO国際口腔保健プログラムについて説明する。(C-7-5)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
6月	17日	堀江 哲郎	ユニット9:感染症総論	1)感染と発症を説明する。(A-4-1-2) 2)病原体を列記する。(A-4-1-1) 3)感染経路を説明する。(A-4-1-2) 4)宿主の感受性を説明する。(A-4-1-2)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
6月	24日	堀江 哲郎	ユニット10:感染症各論	1)主な感染症の流行状況とその予防対策を説明する。(A-4-1-2) 2)新興・再興感染症を説明する。(A-4-1-4) 3)感染源と感染経路対策を述べる。(A-4-1-3) 4)予防接種について説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
7月	1日	奥平 晴子	ユニット11:生活習慣病	1)生活習慣病の有病状況を説明する。(C-5-4) 2)生活習慣病の背景因子を述べる。(C-5-4) 3)健康日本21における生活習慣病の目標値を列記する。(C-5-6) 4)特定健康診査・特定保健指導を説明する。(C-5-5)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
7月	8日	山下万美子	ユニット12:国民栄養	1)国民栄養の現状を述べる。(C-4-1-2), (C-6-2-2) 2)日本人の食事摂取基準を説明する。(C-4-1-2) 3)食育について概説する。(C-4-1-2) 4)食事バランスガイドについて説明する。(C-4-1-2) 5)栄養と疾病・異常を述べる。(C-4-1-2)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
7月	15日	堀江哲郎	ユニット13:食品保健	1)食品安全の意義を述べる。(C-4-1-2) 2)わが国の食中毒の現状を説明する。(C-4-1-2) 3)食品の安全確保対策を列記する。(C-4-1-2)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	13日	川本沙也華	ユニット4:コミュニケーションスキル(2)	1)承認のスキルが与える影響を体感する。 2)承認のスキルを実施する。 3)質問方法の違いによる影響を体感する。 4)質問方法を使い分ける。
		準備学習内容	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
5月	20日	根岸 翼	ユニット5:コミュニケーションスキル(3)	1)コミュニケーションの基本スキルを使い分ける。 2)コーチングの基本概念について述べる。 3)コーチングの基本ステップを述べる。 4)コーチングを実施する。
		準備学習内容	コーチングについて調べる。前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
5月	27日	大津光寛	ユニット6:ヒューマンリレーションズ	1)相手の立場に配慮する。 2)自己を開示する。(A-2-2)-②) 3)価値観について討議する。 4)相手を受容する。
		準備学習内容	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
6月	3日	横澤 茂	ユニット7:医療面接	1)模擬的な医療面接を実施する。(F-2-1)-②) 2)患者の立場を模擬的に体験する。(A-1-3)-②) 3)質問法の使い分けを医療面接に応用する。 4)傾聴技法を医療面接に応用する。(A-4-1)-③) 5)医療面接を評価する。
		準備学習内容	公益社団法人 医療系大学間共用試験実施評価機構が公開している、歯学系OSCE・PX公開資料(https://www.cato.or.jp/cbt/dentistry-osce/index.html)に目を通して、臨床実習開始時点で歯学生に必要なとされる臨床能力の概要を把握しておくこと。	
6月	10日	児玉実穂	ユニット8:コミュニケーション障がいを有した患者さんとのコミュニケーション	1)コミュニケーション障がいの説明する。(F-2-1)-④) 2)コミュニケーション障がいを有する患者さんとのコミュニケーション法を述べる。 3)コミュニケーション障がいを有する患者さんとのコミュニケーション法を実施する。
		準備学習内容	論文「失語症のある人のための意思疎通支援」を読んでおく。 https://www.niph.go.jp/journal/data/66-5/201766050007.pdf	
6月	17日	永浦まどか	ユニット9:対話型鑑賞	1)対話型鑑賞について説明する。 2)自分の意見を述べる。 3)他者の意見を傾聴する。 4)多様性を受け入れる。
		準備学習内容	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
6月	24日	大澤 銀子	ユニット10:アンプロフェッショナル	1)プロフェッションが社会契約の基づくことを認識する。(A-1-3)-①) 2)プロフェッショナリズムの受け止め方の多様性を認識する。 3)アンプロフェッショナルな行動を討議する。 4)生命歯学部 of 学生としての自律的態度・行動を醸成する。
		準備学習内容	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
7月	1日	岡田智雄	ユニット11:アドバンス・ケア・プランニング	1)アドバンス・ケア・プランニングについて説明する。 2)自分の終末期の過ごし方について述べる。 3)他者の終末期の過ごし方について傾聴する。
		準備学習内容	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
7月	8日	仲谷 寛	ユニット12:LGBTQ	1)自分の意見を述べる。 2)他者の意見を傾聴する。 3)多様性を受け入れる。
		準備学習内容	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	
7月	15日	岩田 洋	ユニット13:グループ討議	1)本実習で学んだことを振り返る 2)自分の意見を述べる。 3)他者の意見を傾聴する。
		準備学習内容	前回までに学習した内容を踏まえて、歯科医療に従事する者として必要な態度について内省し、発言できるようにしておく。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	30日	横山 知美	ユニット4: Toothache	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 学んだ言葉について、説明する。(C-7-1) 3) 専門用語について、具体的に述べる。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Toothache』の項を確認する。	
5月	7日	横山 知美	ユニット5: Toothache ②	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。(C-7-1) 2) 歯痛に関する言葉について、分類する。(C-7-1) 3) 学んだ知識について、一般化する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Toothache』の項を確認する。	
5月	14日	横山 知美	ユニット6: Severe Dental Anxiety ①	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。(C-7-1) 2) 歯科恐怖症に関する言葉について、分類する。(C-7-1) 3) 学んだ知識について、一般化する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Severe Dental Anxiety』の項を確認する。	
5月	21日	横山 知美	ユニット7: Severe Dental Anxiety ②	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 学んだ言葉について、説明する。(C-7-1) 3) 専門用語について、具体的に述べる。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Severe Dental Anxiety』の項を確認する。	
5月	28日	横山 知美	ユニット8: Periodontal Disease ①	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 専門用語について、具体的に述べる。(C-7-1) 3) 歯周病に関する言葉について、列挙する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Periodontal Disease』の項を確認する。	
6月	4日	横山 知美	ユニット9: Periodontal Disease ②	1) 英語を聞いて、内容について記述する。(C-7-1) 2) 歯周病に関する言葉について、列挙する。(C-7-1) 3) 学んだ知識について、一般化する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Periodontal Disease』の項を確認する。	
6月	11日	石田祥己	ユニット10: Dental Implant ①	1) 医学・歯学分野と関連する言葉について、列挙する。(C-7-1) 2) 歯痛に関する言葉について、分類する。(C-7-1) 3) 学んだ知識について、一般化する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Dental Implant』の項を確認する。	
6月	18日	石田祥己	ユニット11: Dental Implant ②	1) インプラントに関する言葉について、列挙する。(C-7-1) 2) 英語を聞いて、内容について記述する。(C-7-1) 3) 学んだ知識について一般化する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Dental Implant』の項を確認する。	
6月	25日	横山 知美	ユニット12: Cleft Lip ①	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 学んだ言葉について説明する。(C-7-1) 3) 口唇裂について、具体的に述べる。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Cleft Lip』の項を確認する。	
7月	2日	横山 知美	ユニット13: Cleft Lip ②	1) 口唇裂に関する言葉について、列挙する。(C-7-1) 2) 英語を聞いて、内容について記述する。(C-7-1) 3) 学んだ知識について一般化する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Cleft Lip』の項を確認する。	

科目名

歯の解剖学

曜日 時間

木 10:30~11:50

本学期的到達目標(GIO)

顎顔面の形態的な基礎知識を身に着けるために、解剖学を総括した知識を習得する。また、第1学年で学んだ永久歯の形態学的な特徴を基に、永久歯と乳歯を対比し、臨床歯学を修得するための基礎知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版(株)
阿部伸一 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	(株)学建書院
坂井建雄 他訳	プロメテウス解剖学アトラス 口腔・頭頸部	第2版	医学書院

担当者一覧

春原正隆, 菊池憲一郎, 井出吉昭, 前田祐貴, 宮坂孝弘, 磯部真帆, 小川清美

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(60 %)
 論述試験(30 %)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他(プレ・ポストテスト(10 %))

オフィスアワー

日時:毎週金曜日 16:00~17:20
 場所:本館3階 解剖学第1講座研究室, 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 9日	小川 清美	ユニット1:オリエンテーション, 永久歯(1)	1)歯の解剖学の概要を説明する。(C-2-1) 2)上下顎前歯部の歯冠および歯根形態について説明する。(A-3-4-2)
	準備学習内容	「歯の解剖学 第22版」p35-59を一読する。	
4月 16日	小川 清美	ユニット2:永久歯(2)	1)上下顎小臼歯の歯冠および歯根形態について説明する。(A-3-4-2)
	準備学習内容	「歯の解剖学 第22版」p59-78を一読する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	23日	小川 清美	ユニット3:永久歯(3)	1)上下顎大臼歯の歯冠および歯根形態について説明する。(A-3-4-2)
		準備学習内容	「歯の解剖学 第22版」p78-109を一読する。	
4月	30日	小川 清美	ユニット4:乳歯	1)乳歯の歯冠および歯根の形態を理解する。(A-3-4-2) 2)永久歯と乳歯の鑑別要点を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習内容	「歯の解剖学 第22版」p137-156を一読する。	
5月	7日	磯部 真帆	ユニット5:歯の異常-矯正歯科学に関連する歯の異常-	1)咬合の種類について分類する。(A-3-3-5, D-5-5-2) 2)不正咬合の原因を説明する。(D-5-5-3) 3)先天的原因の種類と特徴を述べる。(A-2-4-6) 4)後天的原因の種類と特徴を述べる。(A-2-4-6) 5)先天的および後天的原因と不正咬合とを関係づける。(A-2-4-6, A-3-3-5, D-5-5-3)
		準備学習内容	レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
5月	14日	春原 正隆	ユニット6:頭頸部の区分, 頭蓋を構成する骨	1)頭頸部の区分を説明する。(A-3-2-1) 2)頭蓋骨(15種23個)の名称を列記する。(A-3-1-2-1) 3)頭蓋冠の縫合と泉門を説明する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版p106-107, 口腔顎顔面解剖ノート第2版の2, 3, 4, 5を読み要点を確認する。	
5月	21日	井出 吉昭	ユニット7:上顎骨, 下顎骨	1)上顎骨の構成要素を説明する。(A-3-1-2-1) 2)下顎骨の構成要素を説明する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔顎顔面解剖ノート第2版の15, 16(余裕があれば2, 3, 8も)を読み骨の名称を確認する。	
5月	28日	宮坂 孝弘	ユニット8:歯の異常-口腔外科学に関連する歯の異常-	1)口腔外科に関連する歯の異常を説明する。(E-3-2-1) 2)下顎埋伏智歯の原因を説明する。(E-3-2-1) 3)下顎埋伏智歯の症状の特徴を述べる。(E-3-2-1) 4)上顎埋伏智歯の原因と症状と特徴を述べる。(E-3-2-1) 5)上顎洞と歯との関連する疾患を説明する。(E-3-2-1)
		準備学習内容	レジュメをダウンロードし、要点を確認する。	
6月	4日	井出 吉昭	ユニット9:蝶形骨, 側頭骨	1)蝶形骨の構成要素を説明する。(A-3-1-2-1) 2)側頭骨の構成要素を説明する。(A-3-1-2-1)
		準備学習内容	口腔顎顔面解剖ノート第2版の18, 19(余裕があれば3, 6, 7も)を読み骨の名称を確認する。	
6月	11日	前田 祐貴	ユニット10:頭蓋骨の前面, 内・外頭蓋底	1)頭蓋の前面, 内頭蓋底, 外頭蓋底の構成要素を説明する。(A-3-1-2-1) 2)脳神経が通る頭蓋底の孔を説明する。(A-3-1-2-1, A-3-2-6)
		準備学習内容	口腔顎顔面解剖ノート第2版の8, 13, 14, 17, 19(余裕があれば2, 7も)を読み骨の名称を確認する。	
6月	18日	井出 吉昭	ユニット11:眼窩, 鼻腔, 骨口蓋, 顎関節	1)眼窩の構成要素を説明する。(A-3-1-2-1) 2)鼻腔の構成要素を説明する。(A-3-1-2-1) 3)鼻腔と副鼻腔・眼窩の交通路を説明する。(A-3-3-8) 4)骨口蓋を構成する骨を説明する。(A-3-1-2-1) 5)顎関節を構成する骨を説明する。(A-3-2-8)
		準備学習内容	口腔顎顔面解剖ノート第2版の8, 13, 14, 17, 19(余裕があれば2, 7も)を読み骨の名称を確認する。	
6月	25日	井出 吉昭	ユニット12:頭蓋骨に付着する筋とその働き	1)咀嚼筋の付着部を説明する。(A-3-2-4) 2)舌骨上筋の付着部を説明する。(A-3-2-3) 3)舌骨下筋の付着部を説明する。(A-3-2-3) 4)咀嚼・嚥下時の筋の働きを説明する。(A-3-2-4)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版p143-148を読み要点を確認する。	
7月	2日	井出 吉昭	ユニット13:翼口蓋窩, 隙	1)翼口蓋窩の交通路を説明する。(A-3-2) 2)主要な隙(翼突下顎隙, 顎下隙, 舌下隙, オトガイ下隙など)の位置とその内部の構造物を説明する。(A-3-2)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版p139, p258-260, 口腔顎顔面解剖ノート第2版の20を読み要点を確認する。	

科目名

歯の解剖学実習

曜日 時間

木

13:00～15:50

本学期的到達目標(GIO)

口腔における歯の役割を認識し、永久歯の歯冠および歯根の形態的特徴を理解するとともに造形を通して総合的な知識を深め、歯の解剖学的形質の重要性を理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
菊池憲一郎・影山幾男・春原正隆 編著	歯の解剖学と歯型彫刻法	第1版	(株)永末書店
藤田恒太郎	歯の解剖学	第22版	金原出版(株)

担当者一覧

春原正隆, 菊池憲一郎, 井出吉昭, 鈴木金吾, 上野隆治, 山下恭嗣, 大垣敦則, 谷津利夫, 河野 勉, 野口顕造, 渡辺一博, 藤田俊哉, 川島正人, 藤島 明, 池田利恵, 小川清美, 小川享宏, 青木一之, 柴垣皓一

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(%)
 論述試験(%)
 口頭試験(20 %)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(30 %)
 観察記録(50 %)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他()

オフィスアワー

日時:実習終了時に実習担当者と確認する。
場所:実習終了時に実習担当者と確認する。

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 9日	春原 正隆 菊池憲一郎	ユニット1:実習オリエンテーション, 手用切削器具の操作方法と彫刻法	1)歯の解剖学実習の心得を確認する。(C-2-1) 2)実習の取り組み方, 姿勢に関して説明する。(C-2-3, C-2-4) 3)手用切削器具の操作方法および彫刻法の注意点に配慮する。(C-2-3) 4)指定された形を造形する。(C-2-4)
	準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p53, 54を読み, ノギスとエバンスの使い方を一読する。	
4月 16日	小川 清美	ユニット2:上顎中切歯の観察と立体構築(1)	1)上顎中切歯の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2)ワックス棒を用いて, 上顎中切歯を造形する。(C-2-4)
	準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20, 52-60を読み, 上顎右側中切歯の形態, 歯型彫刻法について確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	23日	小川 清美	ユニット3:上顎中切歯の立体構築(2)および上下顎中切歯・側切歯・犬歯の観察	1)ワックス棒を用いて、上顎中切歯の解剖学的形態を正確に模倣する。(C-2-4) 2)中切歯・側切歯・犬歯の鑑別要点を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20-24, 62-71を読み、上下顎中切歯、側切歯、犬歯の形態および上顎右側側切歯の歯型彫刻法について確認する。	
4月	30日	小川 清美	ユニット4:上顎犬歯の立体構築	1)上顎犬歯の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2)ワックス棒を用いて、上顎犬歯を造形する。(C-2-4)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p23-24, 92-97を読み、上顎右側犬歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
5月	7日	小川 清美	ユニット5:上顎第一小臼歯の観察と立体構築(1)	1)上顎第一小臼歯の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2)ワックス棒を用いて、上顎第一小臼歯を造形する。(C-2-4)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p25-26, 109-116を読み、上顎右側第一小臼歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
5月	14日	小川 清美	ユニット6:上顎第一小臼歯の立体構築(2)および上下顎小臼歯の観察	1)ワックス棒を用いて、上顎第一小臼歯の解剖学的形態を正確に模倣する。(C-2-4) 2)小臼歯の鑑別要点を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p25-29を読み、上下顎小臼歯の形態について確認する。	
5月	21日	小川 清美	ユニット7:上顎第一大臼歯の立体構築(1)	1)上顎第一大臼歯の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2)ワックス棒を用いて、上顎第一大臼歯を造形する。(C-2-4)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p28-29, 147-155を読み、上顎右側第一大臼歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
5月	28日	小川 清美	ユニット8:上顎第一大臼歯の立体構築(2)および上顎大臼歯の観察	1)ワックス棒を用いて、上顎第一大臼歯の解剖学的形態を正確に模倣する。(C-2-4) 2)上顎大臼歯の鑑別要点を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p28-30を読み、上顎大臼歯の形態について確認する。	
6月	4日	小川 清美	ユニット9:下顎第一大臼歯の立体構築(1)	1)下顎第一大臼歯の特徴を説明する。(A-3-4-2) 2)ワックス棒を用いて、下顎第一大臼歯の歯型彫刻を造形する。(C-2-4)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p30-31, 167-175を読み、下顎右側第一大臼歯の形態、歯型彫刻法について確認する。	
6月	11日	小川 清美	ユニット10:下顎第一大臼歯の立体構築(2)および下顎大臼歯の観	1)ワックス棒を用いて、下顎第一大臼歯の解剖学的形態を正確に模倣する。(C-2-4) 2)下顎大臼歯の鑑別要点を説明する。(A-3-4-2)
		準備学習内容	「歯の解剖学と歯型彫刻法」p30-32を読み、下顎大臼歯の形態について確認する。	
6月	18日	小川 清美	ユニット11:永久歯の立体構築と歯種別の特徴	1)粘土を用いて、指定された歯の造形を行い、習得した解剖学的形態の理解度を確認する。(C-2-3) 2)歯種別の特徴について、知識の理解度を確認する。(C-2-4)
		準備学習内容	「歯の解剖学 第22版」p35-111, 「歯の解剖学と歯型彫刻法」p20-32を読み、要点を確認する。	
6月	25日	春原 正隆 菊池憲一郎	ユニット12:歯型彫刻(実習試験)	1)指定された歯の造形を行い、習得した解剖学的形態の理解度を確認する。(C-2-6) 2)各歯の歯冠・歯根の特徴について、知識の理解度を確認する。(C-2-3)
		準備学習内容	ユニット2から10までの実習内容を復習する。	
7月	2日	春原 正隆 菊池憲一郎	ユニット13:歯の鑑別(実習試験)	1)各歯の特徴について、知識の理解度を確認し、修得した知識を説明する。(C-2-6)
		準備学習内容	「歯の解剖学 第22版」p113-136を読み、要点を確認する。	

科目名

薬理学

曜日 時間

金

9:00~10:20

本学期的到達目標(GIO)

薬理学総論一般を理解し、歯科医師国家試験に対応した薬理学総論の諸知識を習得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

筒井健夫, 著

歯科薬物療法学

第8版

一世出版

戸苅彰史, 他編

現代歯科薬理学

第7版

医歯薬出版

担当者一覧

筒井健夫, 鳥居大祐, 神 唯

学習方略

講義

示説(デモンストレーション)

グループワーク(PBL, TBLを含む)

実習

その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(60%)

論述試験(30%)

口頭試験(%)

レポート(%)

ポートフォリオ(%)

シミュレーションテスト(%)

実地試験(%)

観察記録(%)

態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]

その他(中間試験(10%))

オフィスアワー

日時: 毎週金曜日 16:00~17:00

場所: 本館5階 薬理学研究室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
4月 10日	鳥居 大祐	ユニット1:薬物療法と薬理作用	1)薬物療法の目的を述べる。(A-6-2) 2)薬理作用の基本形式と分類を述べる。(A-6-2) 3)用量反応曲線, 治療係数(安全域)を説明する。(A-6-2)
	準備学習内容	歯科薬物療法学 p1-4, p13-17 を読み, Key Wordsを理解する。	
4月 17日	神 唯	ユニット2:薬物の保管・管理	1)薬物の保管について述べる。(A-6-1) 2)日本薬局方について説明する。(A-6-1)
	準備学習内容	歯科薬物療法学 p5-12 を読み, Key Wordsを理解する。	
4月 24日	神 唯	ユニット3:薬物の作用部位(1)	1)自律神経系の伝達物質と受容体について述べる。(A-6-2), (A-3-1-5)
	準備学習内容	歯科薬物療法学 p18-24 を読み, Key Wordsを理解する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
5月	1日	神 唯	ユニット4:薬物の作用部位 (2)	1)薬物の作用部位を列挙する。(A-6-2) 2)受容体を介する薬理作用について述べる。(A-6-2) 3)喫煙の依存性と身体にもたらす影響について述べる。 (A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p18-24 を読み, Key Wordsを理解する。	
5月	8日	神 唯	ユニット5:薬物の作用機序 (1)	1)受容体の作動薬・拮抗薬の作用様式を説明する。 (A-6-2) 2)受容体を介する薬物の作用機序を説明する。(A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p25-34 を読み, Key Wordsを理解する。	
5月	22日	神 唯	ユニット6:薬物の作用機序 (2)	1)受容体を介さない薬物の作用機序を説明する。 (A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p25-34 を読み, Key Wordsを理解する。	
5月	29日	鳥居 大祐	ユニット7:薬物の吸収	1)薬物の生体膜通過様式を分類する。(A-6-3) 2)薬物の吸収について述べる。(A-6-3)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p35-40 を読み, Key Wordsを理解する。	
6月	5日	鳥居 大祐	ユニット8:薬物の分布と代謝	1)薬物の分布について述べる。(A-6-3) 2)薬物の生体内変化について説明する。(A-6-3)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p40-47 を読み, Key Wordsを理解する。	
6月	12日	鳥居 大祐	ユニット9:薬物の排泄・中間試験	1)薬物の排泄について述べる。(A-6-3) 2)薬物の血中濃度の変化について説明する。(A-6-3) 3)これまでの学習内容を整理・再確認する。
		準備学習内容	中間試験の準備をする。歯科薬物療法学 p47-51 を読み, Key Wordsを理解する。	
6月	19日	筒井 健夫	ユニット10:薬物の相互作用 (1)	1)薬力学的相互作用を列挙する。(A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p56-61 を読み, Key Wordsを理解する。	
6月	26日	筒井 健夫	ユニット11:薬物の相互作用 (2)	1)薬物動態学的相互作用について説明する。(A-6-4)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p57-61 を読み, Key Wordsを理解する。	
7月	3日	神 唯	ユニット12:薬物の連用と有害作用・薬効に影響を及ぼす因子	1)薬物の連用による薬理作用の変化について説明する。 (A-6-2) 2)治療薬の副作用と有害作用を理解する。(A-6-4) 3)薬効に影響を及ぼす因子について説明する。(A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p63-75 を読み, Key Wordsを理解する。	
7月	10日	神 唯	ユニット13:薬物の適用方法	1)薬物の適用方法を分類する。(A-6-3) 2)服薬計画と服薬指導を理解する。(A-6-3) 3)コンプライアンスとアドヒアランスについて述べる。 (A-6-3)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p81-89 を読み, Key Wordsを理解する。	

科目名

生命歯学探究

曜日 時間

金

10:30 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

歯科医学の発展と歯科医療の質の向上に寄与するために、科学(サイエンス)の基盤となる調査・分析・考察の方法を知り、生涯を通じて基本的態度・リサーチマインドを身につける。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

特記すべき書籍なし

担当者一覧

新谷明一, 田谷 雄二, 各講座担当者

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(%) 論述試験(40 %) 口頭試験(%) レポート(50 %) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(10 %) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(プレ・ポストテスト(%))**オフィスアワー**

日時: 講義終了後
場所: 各担当講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	10日	新谷 明一 田谷 雄二	ユニット1: 科学とは? 研究とは? 1) 科学研究を概説する。 2) 科学的根拠の重要性を説明する。 3) 医学研究に関する倫理的問題を説明する。
		準備学習内容	科学(サイエンス)や研究の概念, 現代の課題や問題点について調べる。
4月	17日	望月 真衣 田中 聖至	ユニット2: 生命歯学探究の実際(1) 発生・再生学講座: 再生医療の現状と展望 小児歯科学講座: 幼若永久歯のvital pulp therapy 1) 研究の意義を述べる。 2) 研究内容を把握し, 歯科再生医療における展望に対して自分の考えを述べる。 3) 研究者の話から重要事項を抽出する。 4) 研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 5) 得られた気づきを自分の活動に適用する。
		準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
4月	24日	鈴木 金吾 五十嵐寛子	ユニット3: 生命歯学探究の実際(2) 解剖学講座: 頭部器官形成の仕組みを遺伝子・タンパク質発現変化から読み取る 歯周病学講座: 喫煙が歯周組織に与える影響 1) 免疫染色法によるタンパク発現解析を用いた研究手法を説明する。 2) 研究活動における文献調査の方法とその重要性を説明する。 3) 研究者の話から重要事項を抽出する。 4) 研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 5) 得られた気づきを自分の活動に適用する。
		準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
5月	1日	池田 利恵 河本 芽	ユニット4: 生命歯学探究の実際(3) 組織学講座: 唾液腺研究における組織学的アプローチ 接着歯科学講座: 審美歯科治療の実際 1) 研究者の話から重要事項を抽出する。 2) 研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 3) 得られた気づきを自分の活動に適用する。 4) 審美歯科治療の定義を説明する。 5) 代表的な審美歯科治療を説明する。 6) 審美歯科治療に関する研究内容を理解する。 7) 研究内容について自分の考えを述べる。
		準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
5月	8日	肖 黎 関谷 美貴	ユニット5: 生命歯学探究の実際(4) 生理学講座: ヒト由来細胞を用いたバイオメディカルリサーチ 歯科保存学講座: 歯内療法学の探究 1) 研究者の話から重要事項を抽出する。 2) 研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 3) 得られた気づきを自分の活動に適用する。 4) 歯内療法に関する重要事項を抽出する。 5) 歯内療法の課題に対する自分の考えを述べる。
		準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
5月	22日	美原 希美 磯部 真帆	ユニット6: 生命歯学探究の実際(5) 生化学講座: 基礎研究における研究テーマの形成と発展 — 自身の研究例を通して 矯正学講座: 矯正歯科治療の実際と研究 1) 基礎研究における研究テーマの背景と目的を概説する。 2) 研究上の課題や研究姿勢について自分の考えを述べる。 3) 研究者の話から重要事項を抽出する。 4) 研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 5) 得られた気づきを自分の活動に適用する。
		準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
5月	29日	高橋 幸裕 小柳 昌央	ユニット7: 生命歯学探究の実際(6) 微生物学講座: 口腔細菌の多様性 口腔外科学講座: 口腔外科学での研究について 1) 口腔細菌の多様性の研究における重要事項を抽出する。 2) 口腔細菌の多様性について自分の考えを述べる。 3) 口腔細菌の多様性の研究手法を将来の自分の活動に適用する。 4) 研究者の話から重要事項を抽出する。 5) 研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 6) 得られた気づきを自分の活動に適用する。
		準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	5日	工藤 朝雄 島村 直宏	ユニット8:生命歯学探究の 実際(7) 病理学講座:口腔癌研究 の多面的なアプローチ 麻酔学講座:細胞の培養と 反応	1)口腔癌モデルの利点・欠点を整理・抽出できる。 2)口腔癌モデルの問題点に対して自分の考えを述べる。 3)病理学的アプローチによる歯科研究の展望を提示できる。 4)研究者の話から重要事項を抽出する。 5)研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 6)得られた気づきを自分の活動に適用する。
			準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
6月	12日	神 唯 神尾 崇	ユニット9:生命歯学探究の 実際(8) 薬理学講座:オルガネラと 細胞周期の関係 放射線講座:研究=論文を 書くこと	1)研究者の話から重要事項を抽出する。 2)研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 3)得られた気づきを自分の活動に適用する。 4)研究成果を「論文として公表して初めて社会に共有される」意義を説明できる。 5)論文執筆の目的が個人の業績にとどまらず、英語という共通形式で医学の知識を蓄積・共有することであることを説明できる。 6)Clinician-Scientistの役割、博士号の意義とその後の代表的キャリアを概説し、自身の考えを述べることができる。
			準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
6月	19日	堀田 康弘 秋山 洋	ユニット10:生命歯学探究 の実際(9) 歯科理工学講座:臨床に求 められる歯科理工学研究 歯科補綴学第一講座:デジ タルデンチャーの実際	1)研究者の話から重要事項を抽出する。 2)研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 3)得られた気づきを自分の活動に適用する。 4)常に問題意識をもって解決法を探ることができる。 5)現在行われているデジタルデンチャーの研究について知る。 6)次に向けた課題を抽出する。
			準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
6月	26日	山下万美子 渡邊 慧	ユニット11:生命歯学探究 の実際(10) 衛生学講座:酸化LDLによ る石灰化の基礎的研究 歯科補綴学第二講座:歯 冠補綴装置用材料の落錘 衝撃強さについて	1)研究者の話から重要事項を抽出する。 2)研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べる。 3)得られた気づきを自分の活動に適用する。 4)研究者の話から今後の自分のために重要だと考えられる事項を述べる。 5)講演で紹介した研究を行ううえで大切だと考えられることを述べる。 6)講演内容に対する自分の考えを述べる。
			準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
7月	3日	新谷 明一 田谷 雄二	ユニット12:まとめ・最終レ ポート提出	1)本講義全体を通して提示された各分野の研究内容から、重要事項を抽出できる。 2)複数分野の研究を横断的に踏まえ、研究者が挙げた問題点に対して自分の考えを述べることができる。 3)本講義を通じて得られた気づきや学びを、今後の自分の学修・研究活動に適用できる。
			準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。
7月	10日	新谷 明一 田谷 雄二	ユニット13:総 括	1)本講義全体を通して扱われた生命歯学領域における多様な研究の意義と共通点を整理できる。 2)複数分野の研究を横断的に踏まえ、歯学研究における課題や将来展望について自分の考えを述べることができる。 3)本講義で得られた知識・視点を基に、自身の将来の学修・研究・臨床への活用方法を説明できる。
			準備学習内容	演者の所属分野と演題のキーワードについて調べる。

科目名

組織学

曜日 時間

金

13:00~14:20

本学期的到達目標(GIO)

人体を構成している諸器官の細胞や組織の構造を学び、臨床歯学を修得するための基礎知識を身につける。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

阿部和厚・牛木辰男 著

組織学

改訂20
版

南山堂

担当者一覧

菊池憲一郎, 江原鮎香, 池田利恵, 小川清美

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(60 %) 論述試験(30 %) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(プレ・ポストテスト(10 %))**オフィスアワー**

日時: 毎週金曜日 16:00-17:20

場所: 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	10日	池田 利恵	ユニット1:オリエンテーション, 細胞(1)	1) 組織学の概要を説明する。(A-3-1) 2) 形質膜(細胞膜を含む)の構造と機能について説明する。(A-1-4-1) 3) 細胞小器官の種類, それらの構造と機能について説明する。(A-1-4-1) 4) 核の構造と機能を述べる。(A-1-4-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p5-47を読み, 要点を確認する。	
4月	17日	池田 利恵	ユニット2:細胞(2)	1) 体細胞の増殖(有糸分裂)と生殖細胞の成熟(減数分裂)について比較する。(A-1-4-4) 2) 壊死とアポトーシスの細胞死の過程について説明する。(A-1-4-5)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p5-47を読み, 要点を確認する。	
4月	24日	池田 利恵	ユニット3:上皮組織	1) 上皮組織, 支持組織, 筋組織, 神経組織の特徴について述べる。(A-3-1) 2) 上皮組織の種類と組織構造について説明する。(A-3-1-1-1) 3) 上皮細胞の自由面, 隣接面, 基底面にみられる構造について説明する。(A-3-1-1-1) 4) 腺の構造と分類について述べる。(A-3-1-1-3) 5) 分泌物の性状と分泌様式について説明する。(A-3-1-1-3)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p49-68を読み, 要点を確認する。	
5月	1日	江原 鮎香	ユニット4:支持組織 -結合組織-	1) 結合組織, 軟骨組織, 骨組織, 血液の特徴について述べる。(A-3-1-2, A-3-1-4) 2) 結合組織を構成する細胞と細胞間質について説明する。(A-3-1-2-2) 3) 結合組織の種類と組織構造について説明する。(A-3-1-2-2)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p69-83を読み, 要点を確認する。	
5月	8日	池田 利恵	ユニット5:支持組織 -血液-	1) 血液(リンパを含む)の細胞成分と血漿について説明する。(A-3-1-4-5) 2) 造血組織について説明する。(A-3-1-4-7)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p147-171を読み, 要点を確認する。	
5月	22日	小川 清美	ユニット6:支持組織 -軟骨組織-	1) 3種類の軟骨組織の細胞間質(基質)の性状を説明する。(A-3-1-2-3) 2) 軟骨組織の種類と存在部位について説明する。(A-3-1-2-3)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p83-88を読み, 要点を確認する。	
5月	29日	小川 清美	ユニット7:支持組織 -骨組織-	1) 骨組織を構成する細胞と骨基質について説明する。(A-3-1-2-3) 2) 骨の組織発生-膜内骨化と軟骨内骨化-について説明する。(A-3-1-2-4)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p88-95, 318-321を読み, 要点を確認する。	
6月	5日	池田 利恵	ユニット8:筋組織	1) 筋組織3種類の類似点と相違点を列記する。(A-3-1-3-1, A-3-1-3-2) 2) 神経-筋接合部の構造を述べる。(A-3-1-3-3)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p97-109を読み, 要点を確認する。	
6月	12日	江原 鮎香	ユニット9:神経組織(1)	1) 神経組織の構成細胞を列記する。(A-3-1-5) 2) 神経細胞(ニューロン)の構造と分類について説明する。(A-3-1-5-6) 3) 軸索流について説明する。(A-3-1-5-6) 4) シナプスの構造について説明する。(A-3-1-5-8)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p111-126を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	19日	江原 鮎香	ユニット10: 神経組織(2)	1) 支持細胞(グリア細胞)の種類と構造について説明する。(A-3-1-5-6) 2) 髄鞘の構成細胞と構造について説明する。(A-3-1-5-7) 3) 中枢神経系と末梢神経系の組織構造について説明する。(A-3-1-5-1, A-3-1-5-4)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p111-126を読み、ユニット9と関連付けて、要点を確認する。	
6月	26日	池田 利恵	ユニット11: 器官系, 血管系, リンパ管系	1) 器官系が同じ機能を営む種々の器官によって構成されていることを説明する。(A-3) 2) 血管の基本構造, および血管系に属する器官の構造と機能について述べる。(A-3-1-4-3) 3) リンパ組織, リンパ器官, およびリンパ管系に属する組織や器官の構造と機能について列記する。(A-3-1-4-6)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p127-146を読み、要点を確認する。	
7月	3日	池田 利恵	ユニット12: 免疫系, びまん性リンパ組織, リンパ小節	1) びまん性リンパ組織の微細構造と, びまん性リンパ組織を有する器官の構造上の特性について述べる。(A-3-1-4-6) 2) リンパ小節の微細構造と, リンパ小節を有する器官の構造上の特性について述べる。(A-3-1-4-6) 3) 免疫系に属する組織や器官の基本構造について列記する。(A-3-1-4-6)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p173-177, 184-190を読み、要点を確認する。	
7月	10日	池田 利恵	ユニット13: 胸腺, 脾臓	1) 胸腺の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-4-6) 2) 脾臓の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-4-6)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p177-184, 190-195を読み、要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
4月	10日	田谷雄二 望月真衣	ユニット1: 幹細胞と再生医療	1) 幹細胞と再生について説明する。 2) 再生と修復の機序について説明する。 3) 幹細胞の応用法を説明する。 4) 最新の再生医療を知り, 包括的な治療を創造する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
4月	17日	戸円智幸 柵木寿男	ユニット2: 歯の修復材料の化学的特徴と修復治療について	1) 歯の修復用複合材料の種類と化学的特徴について述べる。 2) 化学重合と光重合について説明する。 3) 歯の修復材料に関係する化学反応の働きを記述する。 4) 化学が修復治療の支えとなっている実態を具体的に述べる。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
4月	24日	千葉忠成 岩原香織	ユニット3: 個人識別における生化学的手法の応用	1) 個人識別について説明する。 2) 個人識別に有用な情報を列記する。 3) 個人識別に用いられる生化学的手法とその原理について説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
5月	1日	三浦大輔 八田みのり	ユニット4: 歯科材料の特性と歯冠補綴装置への応用	1) 物理的性質を説明する。 2) 化学的性質を説明する。 3) 材料の生体刺激性を説明する。 4) 歯冠補綴装置の種類を列記する。 5) 歯科材料の歯冠補綴装置への応用について説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
5月	8日	田中とも子 名生幸恵	ユニット5: 小児期の口腔保健	1) 母子保健法の目的を概説する。 2) 歯科における母子健康手帳の役割を説明する。 3) 学校歯科保健の目的を概説する。 4) 学校歯科医の役割を説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
5月	22日	高橋幸裕 三枝慶祐	ユニット6: 歯内療法で用いられる消毒薬・抗菌薬	1) 歯内療法で用いられる消毒薬の種類と作用機序を説明する。 2) 歯内療法で用いられる抗菌薬の種類と作用機序を説明する。 3) 歯内療法における消毒薬の使用法を説明する。 4) 歯内療法における抗菌薬の使用法を説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
5月	29日	神 唯 酒井有沙	ユニット7: 麻酔	1) 麻酔薬の薬理作用を述べる。 2) 麻酔薬の体内動態を述べる。 3) 歯科で用いられる麻酔法を列記する。 4) 局所麻酔法, 精神鎮静法, 全身麻酔法の特徴について述べる。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
6月	5日	佐伯周子 児玉実穂	ユニット8: 加齢と機能	1) 生理的・病的老化について述べる。 2) 歯科医療に必要な臓器の生理的加齢変化を説明する。 3) 加齢変化が日常生活に及ぼす影響を列記する。 4) 日常生活の評価を説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
6月	12日	井出吉昭 小見野真梨恵	ユニット9: 義歯と解剖	1) 義歯の意義について説明する。 2) 全部床義歯の機能的要件 3) 義歯の維持と脱離に關与する筋について説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
6月	19日	菊池憲一郎 伊藤 弘	ユニット10: 健康な歯周組織が歯周疾患に進行するまで	1) 歯周組織の発生を述べる。 2) 歯周組織の構造を具体的に述べる。 3) 歯周組織の機能を具体的に述べる。 4) 歯周病の原因を説明する。 5) 歯周病の発症と病態進行に伴う組織変化について説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
6月	26日	添野雄一 松野智宣	ユニット11: 口腔粘膜の病変	1) 口腔粘膜の特徴を説明する。 2) 口腔粘膜疾患の種類と特徴を説明する。 3) 口腔粘膜の水疱, 潰瘍, 色調の変化を識別する。 4) 癌とその前駆状態の特徴を説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
7月	3日	添野雄一 名生幸恵	ユニット12: 小児期にみられる歯の異常	1) 発生, 発育・交換過程を述べる。 2) 遺伝的な歯の形成異常を説明する。 3) 乳歯と永久歯のう蝕の特徴を対比する。 4) 小児の歯の外傷の特徴を説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	
7月	10日	神尾 崇 館 晶彦	ユニット13: 矯正歯科治療に關連する基礎学	1) 一般的な矯正治療の概要を説明する。 2) 矯正歯科治療に必要な画像検査について列記する。 3) 矯正歯科治療に關連する画像解剖について説明する。 4) 矯正歯科治療に伴う生体反応について説明する。
		準備学習内容	シラバスに提示されたキーワードについて調べる。	

後学期授業科目

病理学	58
歯科理工学	61
歯科理工学実習	64
衛生・公衆衛生学	67
全部床義歯補綴学	70
組織学	74
地域連携・在宅医療概論	76
生理学	79
生化学	82
生化学実習	84
薬理学	87
歯学英语	90
生理学実習	92
微生物学	95
解剖学	98
解剖学実習	100

(計 16科目)

Pathology	58
Dental Materials Science	61
Practice of Dental Materials Science	64
Public Health	67
Complete Denture Prosthodontics	70
Histology	74
An introduction to community cooperation and home dental care in Japan	76
Physiology	79
Biochemistry	82
Practice of Biochemistry	84
Pharmacology	87
English for Dental Medicine	90
Practice of Physiology	92
Microbiology	95
Anatomy	98
Practice of Anatomy	100
(計 16科目)	

令和8年度（第2学年 後学期）授業時間表

日本歯科大学生命歯学部

時間 曜日	9:00)	10:30)	13:00)	14:30)	16:00)
	10:20	11:50	14:20	15:50	17:20
月	病理学 (添野)	歯科理工学 (新谷)	歯科理工学 (実習:新谷)		※
火	衛生・公衆衛生学 (田中)	全部床義歯補綴学 (隅田)	組織学 (菊池)	地域連携・在宅医療概論 (田村)	※
水	生理学 (佐伯)	生化学 (才木)	生化学 (実習:才木)		※
木	薬理学 (筒井)	歯学英语 (横山)	生理学 (実習:佐伯)		※
金	微生物学 (高橋)	解剖学 (春原)	解剖学 (実習:春原)		※

- 1) 授業期間 令和8年9月24日(木)～令和8年12月24日(木)
 令和9年1月12日(火)～令和9年1月14日(木)
 (令和9年1月14日(木)は授業予備日)
 (令和8年12月25日(金)～令和9年1月8日(金)は冬期休業)

2) 講 堂 142講堂

3) そ の 他 ①「※」は補講，特別授業，相互学習（ピア・サポート）等。

科目名

病理学

曜日 時間

月

9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

歯科医師として必要な疾患概念と病態の知識を得るために、病理学総論として疾患の成り立ちと病態を説明するうえで必要な用語とその定義を整理し、病因論・細胞傷害・代謝障害・組織修復・異物処理・循環障害・炎症・遺伝性疾患・腫瘍の病変について理解する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

著者・編集	書名	版	出版社
下野正基 編	スタンダード病理学	第1版	学建書院
日本歯科大学病理学講座 編 (添野雄一 監修)	ポイントレビュー 病理学・口腔病理学	第1版	キタ・メディア
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭 監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門(冊子版)	第2版	杏林舎
日本歯科大学病理学講座 編 (青葉孝昭 監修)	歯学生のための最新・病態病理学入門(epub版)	第1版	杏林舎
	Webサイト http://www.ndu.ac.jp/~pathhome/patho06.html		

担当者一覧

添野雄一, 田谷雄二, 工藤朝雄

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(50 %)
 論述試験(30 %)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
- ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
- 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
- その他(中間試験 (20 %))

オフィスアワー

日時:毎週月曜日 16:30~18:30
場所:本館6階 病理学講座

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	28日	添野 雄一	ユニット1: 病理学序論	1) 本授業の概要と目的を述べる。 2) 健康と病気の概念を述べる。(C-4-1-1) 3) 個体死と死因を説明する。(A-2-3-4)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p2, p14—32を読み, 要点を確認する。	
10月	5日	添野 雄一	ユニット2: 病因論	1) 疾患概念と病気の成り立ちを概説する。(C-4-1-1) 2) 外因と内因を分類する。(A-5-1-1,2) 3) 疾患に対する外因と内因の関わりを述べる。 (A-5-1-1,2)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p2, p14—32を読み, 要点を確認する。	
10月	19日	添野 雄一	ユニット3: 遺伝性疾患	1) 遺伝性疾患を類別する。(A-1-3-4) 2) 遺伝子変異による疾患を述べる。(A-5-1-1) 3) 染色体異常による疾患を述べる。(A-5-1-1)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p216—243を読み, 要点を確認する。	
10月	26日	田谷 雄二	ユニット4: 代謝障害と疾患	1) 代謝障害に関わる病変を分類する。(A-5-2-5) 2) 細胞内と細胞外の物質の蓄積の病態を対比する。 (A-5-2-5) 3) 病的石灰化と色素沈着を概説する。(A-5-2-5)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p190—215を読み, 要点を確認する。	
11月	2日	田谷 雄二	ユニット5: 細胞傷害と疾患	1) 細胞傷害と組織傷害を説明する。(A-5-2-1) 2) 萎縮の病態を分類する。(A-5-2-4) 3) 細胞死を類別する。(A-5-2-3)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p14—40を読み, 要点を確認する。	
11月	9日	田谷 雄二	ユニット6: 細胞の増殖・分化と疾患	1) 肥大と過形成を対比する。(A-5-3-2) 2) 組織の再生能を述べる。(A-5-3-1) 3) 化生について説明する。(A-5-3-3)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p42—56を読み, 要点を確認する。	
11月	16日	田谷 雄二	ユニット7: 修復と異物処理, 中間試験	1) 異物処理を類別する。(A-5-3-4) 2) 肉芽組織の構成要素を列記する。(A-5-3-4) 3) 創傷治癒と抜歯創治癒の過程を説明する。 (A-5-3-4,5)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p56—62を読み, 要点を確認する。	
11月	30日	工藤 朝雄	ユニット8: 循環障害(1)	1) 充血とうっ血の病態を対比する。(A-5-4-1) 2) 虚血の原因と病態を説明する。(A-5-4-1) 3) 浮腫の原因と病態を述べる。(A-5-4-5) 4) 出血の原因, 種類及び転帰を説明する。(A-5-4-2)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p74—95を読み, 要点を確認する。	
12月	7日	工藤 朝雄	ユニット9: 循環障害(2)	1) 血栓症と塞栓症を説明する。(A-5-4-3) 2) 梗塞の発症機序を説明する。(A-5-4-4) 3) ショックの原因と種類を述べる。(A-5-4-6)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p89—106を読み, 要点を確認する。	
12月	14日	工藤 朝雄	ユニット10: 炎症(1)	1) 炎症の定義と機序を説明する。(A-5-5-1) 2) 炎症に関わる細胞の種類とその役割を述べる。 (A-5-5-2) 3) 感染症と免疫応答を説明する。(A-5-5-2) 4) 自己免疫疾患と免疫不全症候群を概説する。 (A-4-2-6) 5) 炎症反応の時間経過と転帰を説明する。 (A-5-5-3,5)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p110—121, p142—170, p174, p182, p188, p189を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
12月	21日	工藤 朝雄	ユニット11: 炎症(2)	1) 急性炎症と慢性炎症の違いを説明する。 (A-5-5-3,4,5) 2) 滲出性炎の種類と形態的特徴を説明する。 (A-5-5-3) 3) 肉芽腫性炎を列記する。(A-5-5-4) 4) 結核結節の成り立ちを説明する。(A-5-5-4)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p110—140を読み、要点を確認する。	
12月	24日	工藤 朝雄 (木曜日)	ユニット12: 腫瘍(1)	1) 腫瘍の定義と分類を列記する。(A-5-6-1,5) 2) 腫瘍の発育様式と異型性を説明する。(A-5-6-2,3) 3) 良性腫瘍と悪性腫瘍の鑑別点を列記する。 (A-5-6-4) 4) 転移の様式を分類する。(A-5-6-2)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p244—262を読み、要点を確認する。	
1月	13日	工藤 朝雄 (水曜日)	ユニット13: 腫瘍(2)	1) 腫瘍の病因と発生機序を説明する。(A-5-6-1) 2) 自律的増殖の機序を説明する。(A-5-6-1) 3) 腫瘍の用語(実質, 間質, 前癌病変, 上皮内癌)を概説する。(A-5-6-3)
		準備学習内容	「スタンダード病理学」p42—47, p261—275を読み、要点を確認する。	

科目名

歯科理工学

曜日 時間

月

10:30 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

歯科材料の概念を理解するために、一般教育科目、2年生前期で履修した知識を整理し、その作製法や使用法についての知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集**中嶋 裕, 宮崎 隆,
米山隆之:編集幹事**書名**スタンダード歯科理工学
—生体材料と歯科材料—**版**

第8版

出版社

学建書院

担当者一覧

新谷明一, 石田祥己, 三浦大輔, 高橋英和, 青柳有祐, 小泉寛恭, 半田威徳

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(60%) 論述試験(30%) 口頭試験()% レポート()% ポートフォリオ()% シミュレーションテスト()% 実地試験()% 観察記録()% 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(プレ・ポストテスト(10%))**オフィスアワー**

日時:毎週 火曜日 12:10~13:00

場所:本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	28日	三浦 大輔	ユニット1: 埋没材	1) 石膏系埋没材を分類する。(B-3-1) 2) 混水比や使用条件による性質の変化を説明する。(B-3-1) 3) 硬化膨張および熱膨張について説明する。(B-3-1) 4) リン酸塩系埋没材の組成と特性を述べる。(B-3-1) 5) その他の埋没材の取り扱い方と特性を述べる。(B-3-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「鑄造用材料」の「概要(195~197頁)」、「鑄造用パターン材(198頁)」、「鑄造用埋没材(199~203頁)」、「石膏系埋没材(204頁)」、「高温鑄造用埋没材(205~206頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
10月	5日	三浦 大輔	ユニット2: 歯科精密鑄造・鑄造理論と工程	1) パターン製作について説明する。(B-3-1) 2) 鑄込温度と鑄型温度の関係を説明する。(B-3-1) 3) 鑄型の加熱速度と方法について説明する。(B-3-1) 4) 融解金属の流動性と湯流れの基礎を説明する。(B-3-1) 5) 鑄造収縮と寸法補償について説明する。(B-3-1) 6) 鑄造体が不完全な場合の欠陥について説明する。(B-3-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「鑄造用材料」の「鑄造体の製作工程(206~212頁)」、「鑄造体の精度(213~214頁)」、「鑄造欠陥とその対策(214~220頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
10月	19日	青柳 有祐	ユニット3: 合金の加工と熱処理, ろう付け	1) 歯科用合金の加工による諸性質の変化を説明する。(B-3-1) 2) 焼きなましと再結晶による変化を説明する。(B-3-1) 3) 熱処理の意義と操作について説明する。(B-3-1) 4) 歯科用合金の熱処理法を説明する。(B-3-1) 5) ろう付け用合金の所要性質を列記する。(B-3-1) 6) ろう付け用合金の種類を列記する。(B-3-1) 7) ろう付け法の概要を説明する。(B-3-1) 8) 溶接について説明する。(B-3-1) 9) 鑄接について説明する。(B-3-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用金属材料」の「金属の成形加工(169~172頁)」、「熱処理(172~175頁)」、「金属の接合(189~192頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
10月	26日	小泉 寛恭	ユニット4: 合着・接着用材料 I	1) 歯科用セメントを分類する。(B-2-3) 2) グラスアイオノマーセメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(B-2-3) 3) ポリカルボキシレートセメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(B-2-3) 4) レジン系セメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(B-2-3)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「接着・合着用材料」の「グラスアイオノマーセメント(263~265頁)」、「ポリカルボキシレートセメント(265~267頁)」、「レジンセメント(256~263頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	2日	新谷 明一	ユニット5: 合着・接着用材料 II	1) リン酸亜鉛セメントの組成, 硬化機構, 性質を説明する。(B-2-3) 2) 酸化亜鉛ユージノールセメントおよびEBAセメントの組成, 性質を説明する。(B-2-3) 3) 粉液比, 硬化時間, 強さ, 被膜厚さ, 溶解性と崩壊性, pH, 寸法変化, 生物学的性質, 被着面処理について説明する。(B-2-3)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「接着・合着用材料」の「リン酸亜鉛セメント(267~269頁)」、「酸化亜鉛ユージノールセメント(269~271頁)」、「仮着用セメント(271~272頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	9日	石田 祥己	ユニット6: 陶材 I	1) 陶材の組成および物性を説明する。(B-2-1) 2) 陶材の焼付機構を説明する。(B-2-1) 3) 陶材の焼成法について説明する。(B-2-1) 4) 陶材の強化法を列記する。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯冠用セラミックス」の「概要(221~225頁)」、「歯科用陶材(225~232頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	16日	石田 祥己	ユニット7: 陶材Ⅱ	1) 陶材焼付鑄造冠の特徴を説明する。(B-2-1) 2) 陶材焼付鑄造冠の製法を説明する。(B-2-1) 3) 陶材と金属の焼付機構について説明する。(B-2-1) 4) 全部陶材冠の種類を列記する。(B-2-1) 5) 全部陶材冠の作製法を説明する。(B-2-1) 6) 陶材焼付用合金焼付処理について説明する。(B-2-1) 7) ファインセラミックスの種類を列記する。(B-2-1) 8) セラミックスの強度と組成の関係を説明する。(B-2-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯冠用セラミックス」の「歯科用陶材(225~232頁)」、「歯科用ニューセラミックス(232~241頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	30日	三浦 大輔	ユニット8: 切削, 研削, 研磨, 腐食	1) 研削, 研磨材の種類と使用法を列記する。(B-3-1) 2) 研磨の能率を説明する。(B-3-1) 3) 電解研磨を説明する。(B-3-1) 4) 腐食を説明する。(B-3-1) 5) 切削, 研磨に用いる機器とその特徴を説明する。(B-3-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「切削・研削・研磨剤(263~278頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
12月	7日	三浦 大輔	ユニット9: 歯内・歯周・矯正用材料	1) 仮封材の種類, 性質を列挙する。(B-2-5) 2) 裏層材の種類を説明する。(B-2-5) 3) 根管充填材の種類, ポイント, シーラーを記述する。(B-2-5) 4) ポスト材の種類を列記する。(B-2-5) 5) 矯正治療用装置を分類する。(B-2-4)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯内療法関連材料(105~116頁)」、「矯正用材料(327~336頁)」, の「組織工学用材料」を参考に学習テーマについて学習する。	
12月	14日	青柳 有祐	ユニット10: インプラント材料	1) 歯科インプラントの変遷を説明する。(B-2-6) 2) 人工歯根の種類, 所要性質を列挙する。(B-2-6) 3) 骨補填材料の種類, 所要性質を列挙する。(B-2-6) 4) GTR, GBR, 細胞遮断膜を説明する。(B-2-6)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「インプラント用材料」の「概要(307~311頁)」、「歯科インプラント用材料(311~314頁)」、「骨補填用材料(314~326頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
12月	21日	高橋 英和	ユニット11: CAD/CAM用器材Ⅰ	1) コンピューター応用機器を説明する。(B-3-4) 2) CAD/CAMの手技, 工程を説明する。(B-3-4) 3) CAD/CAM用いた歯科診療の説明する。(B-3-4)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用器械」の「歯科用CAD/CAMシステム(356~361頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
12月	24日	半田 威徳	ユニット12: CAD/CAM用器材Ⅱ	1) 除去加工で用いられる材料を説明する。(B-3-4) 2) 付加製造の種類を列記する。(B-3-4) 3) 付加製造で用いられる材料を説明する。(B-3-4)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用器械」の「歯科用CAD/CAMシステム(356~361頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	
1月	13日	青柳 有祐	ユニット13: 歯科用機器・器具	1) エアタービン, エアモーター, マイクロモーターの構造と特性を説明する。(B-3-1) 2) レーザーの分類と歯科用途を説明する。(B-3-1) 3) 超音波, バレル, サンドブラスト, レーズを説明する。(B-3-1)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用器械」の「概要(337~338頁)」、「診療用器械(338~351頁)」、「技工用器械(352~354頁)」を参考に学習テーマについて学習する。	

科目名

歯科理工学実習

曜日 時間

月 13:00 ~ 15:50

本学期的到達目標(GIO)

材料に関する知識を有機的に結びつけて理解するために、歯科理工学の講義で履修した知識をもとに、材料の使用法を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

大熊一夫・新谷明一

新版歯科理工学実習指針

第2版

医歯薬出版

中嶋 裕, 宮崎 隆,
米山隆之:編集幹事スタンダード歯科理工学
—生体材料と歯科材料—

第8版

学建書院

担当者一覧

新谷明一, 堀田康弘, 石田祥己, 三浦大輔, 丸田久美子, 長谷川有紀, 青柳有祐, 原田唯生, 渡邊 慧, 高橋英和, 長谷英明, 海渡智義, 半田威徳, 原 新子, 清水沙久良

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(%) 論述試験(%) 口頭試験(%) レポート(50%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(40 %) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(小テスト(10 %))**オフィスアワー**

日時:毎週 金曜日 12:10~13:00

場所:本館4階 歯科理工学講座実習室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	28日	三浦 大輔	ユニット1:印象材の弾性ひずみと永久ひずみ	1)各種弾性印象材を操作する。(B-3-1) 2)弾性ひずみ, 永久ひずみを測定する。(B-3-1) 3)測定データから弾性印象材の優劣を比較する。(B-3-1)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「印象材」の「基礎知識」と「印象材の弾性ひずみと永久ひずみ」を参考に学習テーマについて学習する。	
10月	5日	堀田 康弘	ユニット2:石膏の硬化膨張と硬化時間	1)条件を変えて石膏を練和する。(B-3-1) 2)硬化膨張, 硬化時間を測定する。(B-3-1) 3)硬化膨張に影響する因子を列記する。(B-3-1) 4)硬化時間に影響する因子を列記する。(B-3-1)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「石膏」を参考に学習テーマについて学習する。	
10月	19日	堀田 康弘	ユニット3:連合印象による模型の寸法精度	1)連合印象による印象採得を実施する。(B-3-1) 2)連合印象による石膏模型の寸法精度を測定する。(B-3-1) 3)連合印象の種類による寸法精度を比較する。(B-3-1)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「印象材」の「基礎知識」と「連合印象による模型の寸法精度」を参考に学習テーマについて学習する。	
10月	26日	石田 祥己	ユニット4:加熱重合レジンの粉・液反応時間	1)粉・液の反応時間を測定する。(B-2-2) 2)レジン混和時の温度の影響を調べる。(B-2-2) 3)粉・液反応時間に影響する因子を列挙する。(B-2-2)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「歯科用レジン」の「基礎知識」と「加熱重合レジンの粉・液反応時間」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	2日	石田 祥己	ユニット5:加熱重合レジン重合時の温度上昇と気泡の発生状態の観察	1)加熱重合レジンの温度上昇を測定する。(B-2-2) 2)加熱重合レジンの気泡の発生状態を観察する。(B-2-2) 3)内部気泡の発生原因と対策を説明する。(B-2-2)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「歯科用レジン」の「基礎知識」と「加熱重合レジン重合時の温度上昇と気泡の発生状態の観察」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	9日	三浦 大輔	ユニット6:フルクラウンタイプ・ワックスパターンの変形	1)フルクラウンタイプのワックスパターンを作製する。(B-2-1) 2)条件を変えたときのワックスパターンの変形を測定する。(B-2-1) 3)ワックスパターンの変形が起こる理由を列挙する。(B-2-1) 4)ワックスの種類と特徴を説明する。(B-2-1)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「ワックス」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	16日	三浦 大輔	ユニット7:埋没材の硬化膨張・没材の加熱膨張, クラウンの寸法精度	1)埋没材の取扱法を習熟する。(B-3-1) 2)埋没材の硬化膨張, 熱膨張を測定する。(B-3-1) 3)硬化膨張に影響する因子を列挙する。(B-3-1) 4)熱膨張に影響する因子を列挙する。(B-3-1) 5)クラウンを鑄造する。(B-3-1) 6)鑄造体の寸法精度を測定する。(B-3-1) 7)鑄造体を研磨する。(B-3-1) 8)鑄造収縮の補償法を説明する。(B-3-1)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「埋没材」, 「歯科精密鑄造」を参考に学習テーマについて学習する。	
11月	30日	三浦 大輔	ユニット8:成形修復材の圧縮強さと間接引張強さ I	1)成形修復材の操作に習熟する。(B-2-1) 2)成形修復材の試料を作製する。(B-2-1) 3)成形修復材の取扱法を列挙する。(B-2-1) 4)成形修復材の特徴を述べる。(B-2-1) 5)成形修復材の圧縮強さと間接引張強さを測定する。(B-2-1) 6)成形修復材の強さを比較する。(B-2-1) 7)成形修復材の優劣を討議する。(B-2-1)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「成形充填材」を参考に学習テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
12月	7日	石田 祥己	ユニット9:成形修復材の圧縮強さと間接引張強さⅡと重合深度測定	1)成形修復材の圧縮強さと間接引張強さを測定する。(B-2-1) 2)成形修復材の強さを比較する。(B-2-1) 3)成形修復材の優劣を討議する。(B-2-1) 4)成形修復材の重合深度を測定する。(B-2-1)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「成形充填材」を参考に学習テーマについて学習する。	
12月	14日	石田 祥己	ユニット10:修復材との接着Ⅰ	1)合着用セメントの練和法および基本的な取扱法を習熟する。(B-2-3) 2)歯質のエッチング処理と被着面処理の操作を行う。(B-2-3) 3)形成修復材の操作法に習熟し、歯質面に接着する。(B-2-3) 4)材料の被着面処理と接着を行う。(B-2-3)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「合着材・接着剤」を参考に学習テーマについて学習する。	
12月	21日	堀田 康弘	ユニット11:修復材との接着Ⅱ	1)歯冠修復材と接着性レジンセメントの接着強さを測定する。(B-2-3)
		準備学習内容	新版歯科理工学実習指針 第2版の「合着材・接着剤」を参考に学習テーマについて学習する。	
12月	24日	堀田 康弘	ユニット12:CAD/CAMの手技, 工程	1)CAD/CAMの手技, 工程を取扱法を習熟する。(B-3-4)
		準備学習内容	スタンダード歯科理工第8版の「歯科用器械」の「歯科用CAD/CAMシステム」を参考に学習テーマについて学習する。	
1月	13日	新谷 明一	ユニット13:総括	1)小テストによりユニット1~12の理解度を認識する。
		準備学習内容	ユニット1~12の学習テーマについて復習する。	

科目名

衛生・公衆衛生学

曜日 時間

火

9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

歯科医師法第1条が定める歯科医師最大の任務「公衆衛生の向上に寄与する歯科医師」に必要な公衆衛生を、一層深く洞察する能力を修得するため、健康を妨げる社会・環境的諸因子、そして健康を増進する社会システムを理解する。

教科書・参考書**著者・編集**杉原直樹, 福田雅臣,
川戸貴行 編**書名**

口腔衛生学2026

版

第1版

出版社

一世出版

担当者一覧

田中とも子, 大島克郎, 堀江哲郎, 山下万美子, 林田尚斗, 佐藤勝弘

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(60%) 論述試験(40%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時:毎週火曜日 16:00~17:00, および登校日は随時

場所:本館5階 衛生学講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	29日	林田 尚斗	ユニット1:社会環境と健康	1) 自然環境と社会環境を述べる。(C-4-5-1) 2) 環境への適応を述べる。(C-4-5-1) 3) 小児の疾病構造を説明する。(C-4-3-1) 4) 成人の疾病構造を説明する。(C-4-3-1) 5) 障害者の疾病構造を説明する。(C-4-3-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	6日	堀江 哲郎	ユニット2:生活環境と健康 (1)	1) 水と健康との関わり合いを述べる。(C-4-5-1) 2) 上水の水質基準を説明する。(C-4-5-2) 3) 浄水法を説明する。(C-4-5-2) 4) 下水終末処理法について説明する。(C-4-5-2) 5) 水と健康被害について述べる。(C-4-5-2) 6) 温熱環境による健康影響を説明する。(C-4-5-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	13日	堀江 哲郎	ユニット3:生活環境と健康 (2)	1) 空気成分と健康影響との関連を説明する。(C-4-5-1) 2) 騒音による健康影響について説明する。(C-4-5-1) 3) 振動による健康影響を説明する。(C-4-5-1) 4) 放射線による生体影響について説明する。(C-4-5-1) 5) 住居環境と健康影響を概説する。(C-4-5-1) 6) わが国および国際的な廃棄物対策を述べる。 (C-4-5-1) 7) 医療廃棄物について述べる。(C-3-3-3)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	20日	堀江 哲郎	ユニット4:地球環境変動と 健康	1) 地球温暖化について説明する。(C-4-5-4) 2) 温室効果ガス削減の国際的対策を述べる。(C-4-5-4) 3) 砂漠化について説明する。(C-4-5-4) 4) 酸性雨発生について述べる。(C-4-5-4) 5) オゾン層破壊について述べる。(C-4-5-4) 6) オゾン層保護の国際的取り組み述べる。(C-4-5-4)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
10月	27日	堀江 哲郎	ユニット5:公害	1) 環境基本法について説明する。(C-4-5-3) 2) 4大公害病について述べる。(C-4-5-3) 3) 大気汚染防止対策の概要を説明する。(C-4-5-3) 4) 内分泌かく乱化学物質について述べる。(C-4-5-3) 5) 生物濃縮について述べる。(C-4-5-3) 6) 大気汚染の現状と健康被害について述べる。 (C-4-5-3)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月	10日	大島 克郎	ユニット6:地域保健・公衆 衛生	1) 地域保健・公衆衛生の概念を述べる。(C-4-3-1) 2) 地域保健の組織を説明する。(C-4-3-1) 3) 健康増進施策の世界的潮流を説明する。(C-4-3-1) 4) 日本の健康増進施策を説明する。(C-4-3-1) 5) 地域保健活動の進め方を説明する。(C-4-3-6)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
11月	17日	田中とも子	ユニット7:母子と健康	1) わが国の母子の健康に関する問題点を述べる。 (C-4-3-1) 2) 健やか親子21の概要を述べる。(C-4-3-5), (C-4-3-4) 3) わが国の母子保健対策の概要を説明する。(C-4-3-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	24日	田中とも子	ユニット8:労働環境と健康 (1)	1)産業保健の意義を述べる。(C-4-3-1) 2)わが国の労働災害の現場を説明する。(C-4-3-2) 3)労働者の衛生管理体制について説明する。(C-4-3-1) 4)職業性疾患の概要を述べる。(C-4-3-4)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
12月	1日	田中とも子	ユニット9:労働環境と健康 (2)	1)物理的環境因子による健康障害を説明する。(C-4-3-1) 2)化学的環境因子による健康障害を説明する。(C-4-3-1) 3)作業条件による健康障害を説明する。(C-4-3-1) 4)職業性歯科疾患について述べる。(C-4-3-1) 5)トータルヘルスプロモーションプランの概要を説明する。 (C-4-3-2)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
12月	8日	山下万美子	ユニット10:学校環境と健康	1)学校保健の意義を述べる。(C-4-3-1) 2)学校における健康問題の現状を説明する。(C-4-3-1) 3)保健活動の概要を説明する。(C-4-3-1) 4)学校保健の仕組みと学校歯科医師の役割を述べる。 (C-4-3-1) 5)学校感染症と学校病を説明する。(C-4-3-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
12月	15日	大島 克郎	ユニット11:社会保障と医療	1)日本の社会保障制度を説明する。(C-4-3-2) 2)医療保険制度を説明する。(C-4-3-2) 3)医療保険の種類を列挙する。(C-4-3-2) 4)歯科医療経済の動向を述べる。(C-4-3-3)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
12月	22日	大島 克郎	ユニット12:社会保障と介護	1)介護保険制度を説明する。(C-4-3-2) 2)介護保険の種類を列挙する。(C-4-3-2) 3)地域包括ケアシステムについて説明する。(C-4-3-6)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	
1月	12日	山下万美子	ユニット13:精神保健と障害者保健	1)我が国における精神障害の現状を理解する。 (C-4-1-1) 2)地域における精神保健福祉体制を説明する。 (C-4-1-1)
		準備学習内容	「口腔衛生学2026」を参考に講義テーマについて学習する。	

科目名

全部床義歯補綴学

曜日 時間

火 10:30~11:50

本学期的到達目標(GIO)

咀嚼系の形態と機能を理解するために、基礎学科で履修した知識を整理するとともに、歯科補綴学の概念および基礎的知識を修得する。また、無歯顎における形態と機能の変化に対する全部床義歯補綴の考え方を理解する。

教科書・参考書

著者・編集	書名	版	出版社
市川哲雄・大川周治・平井敏博・細井紀雄	無歯顎補綴治療学	第4版	医歯薬出版
細井紀雄・平井敏博・長岡英一・赤川安正・鈴木哲也・大川周治	コンプリートデンチャーテクニク	第6版	医歯薬出版

担当者一覧

隅田由香, 上杉華子, 小見野真梨恵, 秋山 洋, 金子いつか

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(50%)
 論述試験(30%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
- ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
- 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
- その他(中間テスト (20%))

オフィスアワー

日時:木曜日 17:20~18:00
 場所:4階 歯科補綴学第1講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 29日	隅田 由香	ユニット1:全部床義歯と無歯顎補綴学	1)健康・QOLの考え方を説明する。(C-4-3-4) 2)歯科補綴学と補綴歯科臨床について説明する。(D-5-3) 3)全部床義歯と無歯顎補綴学について説明する。(D-5-3-2-1) 4)歯科補綴学・補綴歯科治療と咬合について説明する。(D-5-3-2-8) 5)無歯顎の病因と病態を説明する。(D-5-3-2-1)
	準備学習内容	無歯顎補綴治療学 1~19頁, コンプリートデンチャーテクニク 1~3, 9頁を読み, 要点を確認する。	

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月 6日	上杉 華子	ユニット2: 頭頸部, 口腔と咽頭, 顎と顎関節, 下顎位, 下顎運動, 基準平面	<ul style="list-style-type: none"> 1) 頭頸部, 口腔と咽頭, 顎と顎関節の形態, 構造, 機能を述べる。(A-3-2-3), (A-3-3-1~4), (A-3-2-12), (A-3-2-8) 2) 顎運動のメカニズムを説明する。(A-3-2-9) 3) 咀嚼運動の制御機構を説明する。(A-3-2-4) 4) 嚥下機能に関連する基礎的事項を述べる。(A-3-2-4) 5) 発音機能に関連する基礎的事項を述べる。(A-3-2-14) 6) 中心咬合位の概念を述べる。(A-3-3-5) 7) 中心位の定義を述べる。(A-3-3-5) 8) 下顎安静位の補綴学的意義を述べる。(A-3-3-5) 9) 下顎限界運動を説明する。(A-3-2-9) 10) 各種下顎運動を説明する。(A-3-2-9) 11) 顎路を説明する。(D-5-3-2-6) 12) 各種基準平面を説明する。(A-3-3-5)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 20~56頁, コンプリートデンチャーテクニク 4~8頁を読み, 要点を確認する。
10月 13日	秋山 洋	ユニット3: 全部床義歯の要件・構成・種類	<ul style="list-style-type: none"> 1) 全部床義歯の機能的要件(吸着, 粘着, 筋圧維持, 維持と安定)を説明する。(D-5-3-2-3) 2) 全部床義歯の解剖学的要件(筋, 顎堤, 粘膜)を説明する。(D-5-3-2-3) 3) 全部床義歯の審美的要件(顔貌, 審美性)を説明する。(D-5-3-2-3) 4) 全部床義歯の各構成要素について, その意義を述べる。(D-5-3-2-3) 5) 義歯床の審美的形態, 機能的形態, 衛生的形態を説明する。(D-5-3-2-3) 6) 人工歯の種類, 形態, 色調を説明する。(D-5-3-2-7) 7) 金属床義歯の特徴を説明する。(D-5-3-2-2) 8) 即時義歯, 治療用義歯, 移行義歯の意義と目的を述べる。(D-5-3-2-2)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 57~63, 291~295頁を読み, 要点を確認する。
10月 20日	秋山 洋	ユニット4: 診察・検査・診断・治療計画・前処置	<ul style="list-style-type: none"> 1) 無歯顎補綴治療における医療面接とインフォームドコンセントについて述べる。(D-2-1-1~4), (D-4-3-1~4) 2) 一般的検査の項目を列挙する。(D-2-2-1,2) 3) 一般的検査(全身状態)について, 実際の臨床においてどのように活用するかを述べる。(D-2-3-1~7) 4) 現症(顔貌, 口腔周辺, 口腔内, 機能, 残存歯, 模型, エックス線)の検査について, 実際の臨床においてどのように活用するかを述べる。(D-2-2-1,2) 5) 診断に基づいた治療計画の立案について述べる。(D-4-2-1~3) 6) 口腔内状態を改善するための外科的処置, 補綴的処置, 薬物的処置などの前処置について, その意義を説明する。(D-5-3-2-3,4) 7) 前処置の種類を列挙する。(D-5-3-2-3,4) 8) 前処置の方法を説明する。(D-5-3-2-3,4)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 66~99, 104~107頁, コンプリートデンチャーテクニク 11~20頁を読み, 要点を確認する。
10月 27日	小見野 真梨恵	ユニット5: 無歯顎の印象採得	<ul style="list-style-type: none"> 1) 印象法の種類を列挙する。(D-5-3-2-4) 2) 各印象法の特徴を述べる。(D-5-3-2-4) 3) 印象に使用する材料の種類を列挙する。(D-5-3-2-4) 4) 概形印象による研究用模型の製作法を説明する。(D-5-3-2-4,9) 5) 個人トレーの意義を述べる。(D-5-3-2-4) 6) 個人トレーの製作手順を説明する。(D-5-3-2-4,9) 7) 精密印象の術式を説明する。(D-5-3-2-4,9) 8) 個人トレーを用いた筋圧形成による辺縁形成の術式とその理論を説明する。(D-5-3-2-4,9)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 108~138頁, コンプリートデンチャーテクニク 21~48頁を読み, 要点を確認する。

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	10日	小見野 真梨恵	ユニット6: 作業用模型・咬合床の製作	1) ボクシングの意義を述べる。(D-5-3-2-5) 2) 作業用模型の製作手順を説明する。(D-5-3-2-5,9) 3) スプリットキャストの目的を列挙する。(D-5-3-2-5) 4) 作業用模型上での診査項目を列挙する。(D-5-3-2-5) 5) リリーフ・ブロックアウトの意義を述べる。(D-5-3-2-5) 6) 後堤法を説明する。(D-5-3-2-5) 7) 咬合床の製作手順を説明する。(D-5-3-2-5,9)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 138~146頁, コンプリートデンチャーテクニク 48~56頁を読み, 要点を確認する。	
11月	17日	秋山 洋	ユニット7: 中間テスト	1) 中間テストにより学習内容の理解度を評価する。
		準備学習内容	ユニット1~7の講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	
11月	24日	金子 いつか	ユニット8: 咬合採得・咬合器の装着	1) 咬合採得の目的を述べる。(D-5-3-2-5) 2) 仮想咬合平面の決定の意義, 術式を説明する。(D-5-3-2-5) 3) 垂直的顎間関係に対する考え方を述べる。(D-5-3-2-5) 4) 垂直的顎間関係の決定法を列挙し, 術式を説明する。(D-5-3-2-5) 5) 水平的顎間関係に対する考え方を述べる。(D-5-3-2-5) 6) 水平的顎間関係の決定法を列挙し, 術式を説明する。(D-5-3-2-5) 7) ゴシックアーチ描記法の生理学的意義, 術式, 評価法について説明する。(D-5-3-2-5) 8) 下顎運動の測定法について説明する。(D-5-3-2-6) 9) 咬合器の使用目的を列記する。(D-5-3-2-6) 10) 咬合器の構造を説明する。(D-5-3-2-6) 11) 咬合器の種類とその特徴を列記する。(D-5-3-2-6) 12) フェイスボウトランスファーの意義を述べる。(D-5-3-2-6) 13) 咬合採得後に上下顎顎間関係を咬合器上に再現するための手順を具体的に述べる。(D-5-3-2-6)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 146~196頁, コンプリートデンチャーテクニク 51, 56~87頁を読み, 要点を確認する。	
12月	1日	上杉 華子	ユニット9: 人工歯選択・前歯部人工歯排列	1) 前歯部人工歯の選択(材質・大きさ・形態・色調)に対する考え方を説明する。(D-5-3-2-7) 2) 臼歯部人工歯の選択(材質・大きさ・咬頭傾斜)に対する考え方を説明する。(D-5-3-2-7) 3) 前歯部人工歯の排列(被蓋度, 発音, 審美性, 歯頸線の位置・形態, スマイルライン)に対する考え方を説明する。(D-5-3-2-8) 4) 審美性に重点がおかれる前歯部人工歯の排列方法を具体的に述べる。(D-5-3-2-8) 5) 排列状態の確認法について述べる。(D-5-3-2-8)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 197~216頁, コンプリートデンチャーテクニク 89~97頁を読み, 要点を確認する。	
12月	8日	上杉 華子	ユニット10: 臼歯部人工歯排列	1) 臼歯部人工歯の排列(歯槽頂間線法則, 調節彎曲)に対する考え方を説明する。(D-5-3-2-8) 2) 咀嚼機能に重点がおかれる臼歯部人工歯の排列方法を具体的に述べる。(D-5-3-2-8) 3) Christensen現象を説明する。(D-5-3-2-8) 4) 排列状態の確認法について述べる。(D-5-3-2-8)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 197~230頁, コンプリートデンチャーテクニク 99~123頁を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
12月	15日	隅田 由香	ユニット11: 蠟義歯試適・埋没・重合・削合・研磨	1) 埋没前の前準備について述べる。(D-5-3-2-10) 2) 各種フラスコ埋没法の違いを述べる。(D-5-3-2-10) 3) 流蠟の術式とレジン重合法(加熱重合法・流し込み法・射出成型法)を述べる。(D-5-3-2-10) 4) 選択削合, 自動削合, 形態修正, 遁路形成について, 目的, 意義, 術式を説明する。(D-5-3-2-10) 5) 研磨の目的と方法を述べる。(D-5-3-2-10)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 234~251頁, コンプリートデンチャーテクニク 125~172頁を読み, 要点を確認する。	
12月	22日	小見野 真梨恵	ユニット12: 装着・患者指導・リライン・リベース・修理	1) 装着時の点検事項を列挙する。(D-5-3-2-10) 2) 装着後の床下粘膜の疼痛や維持不十分に対する処置法を述べる。(D-5-3-2-11) 3) 患者に対する術後の教育・指導法を述べる。(D-5-3-2-11) 4) 経過観察と定期診査の意義を説明する。(D-5-3-2-11) 5) 義歯破損の原因について列挙する。(D-5-3-2-12) 6) 義歯修理の方法を説明する。(D-5-3-2-12) 7) リライン・リベースについて, その意義と方法について説明する。(D-5-3-2-12) 8) 咬合面再構成の意義と手順について説明する。(D-5-3-2-12) 9) 複製義歯による治療の特徴を理解し, 製作法・利用法について説明する。(D-5-3-2-2)
		準備学習内容	無歯顎補綴治療学 100~104, 252~282頁, コンプリートデンチャーテクニク 173~185, 191~192頁を読み, 要点を確認する。	
1月	12日	小見野 真梨恵	ユニット13: まとめ	1) 学習内容を整理・再確認し, 学習内容の習熟度を評価する。
		準備学習内容	後期講義内容の資料と教科書を読み, 要点を確認する。	

科目名

組織学

曜日 時間

火

13:00~14:20

本学期的到達目標(GIO)

前学期で学んだ細胞と組織の基本構造を基に、人体を構成している諸器官の細胞や組織の構造と機能を理解し、臨床歯学を修得するための基礎知識を身につける。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

阿部和厚・牛木辰男 著

組織学

改訂20版

南山堂

担当者一覧

菊池憲一郎, 辻村麻衣子, 池田利恵

学習方略

講義

示説(デモンストレーション)

グループワーク(PBL, TBLを含む)

実習

その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(60 %)

論述試験(30 %)

口頭試験(%)

レポート(%)

ポートフォリオ(%)

シミュレーションテスト(%)

実地試験(%)

観察記録(%)

態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]

その他(プレ・ポストテスト(10 %))

オフィスアワー

日時: 毎週火曜日 16:00-17:20

場所: 本館6階 解剖学第2講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 29日	池田 利恵	ユニット1:オリエンテーション, 消化器系, 消化管(口腔, 咽頭, 食道)	1) 組織学の概要を説明する。(A-3-1) 2) 消化管の基本構造について記述する。(A-3-1-7-1) 3) 口腔の基本構造について述べる。(A-3-3-2) 4) 咽頭の基本構造について説明する。(A-3-2-12) 5) 食道の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-7-1)
	準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p327-329, 346-348を読み, 要点を確認する。	
10月 6日	池田 利恵	ユニット2:消化器系, 消化管(胃, 小腸, 大腸)	1) 胃の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-7-1) 2) 小腸の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-7-1) 3) 大腸の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-7-1)
	準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p348-364を読み, 要点を確認する。	
10月 13日	池田 利恵	ユニット3:消化器系, 消化腺(肝臓, 膵臓)	1) 消化腺の基本構造について記述する。(A-3-1-1-3) 2) 肝臓の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-7-2) 3) 膵臓の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-7-2)
	準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p364-379を読み, 要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	20日	池田 利恵	ユニット4:演習	1) ユニット1~3の学習内容を再確認し, 問題解決に対応できる知識を説明する。(C-2-3, C-2-4) 2) 修得した知識を記述する。(C-2-1)
		準備学習内容	ユニット1~3について, 要点を再確認する。	
10月	27日	菊池憲一郎	ユニット5:内分泌器(1)	1) 内分泌器の基本構造について説明する。(A-3-1-9-1) 2) 下垂体の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-9-1) 3) 甲状腺の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-9-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p197-212を読み, 要点を確認する。	
11月	10日	菊池憲一郎	ユニット6:内分泌器(2)	1) 上皮小体の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-9-1) 2) 副腎の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-9-1, A-3-1-9-2) 3) 胃腸に分布する内分泌細胞について述べる。(A-3-1-9-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p213-222, 348-353を読み, 要点を確認する。	
11月	17日	辻村麻衣子	ユニット7:呼吸器系(気管)	1) 呼吸器系に属する器官の基本構造について述べる。(A-3-1-8) 2) 気管の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-8-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p381-387, 346-347を読み, 要点を確認する。	
11月	24日	菊池憲一郎	ユニット8:呼吸器系(肺), 喫煙と健康	1) 肺の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-8-2) 2) 喫煙が健康にもたらす影響を説明する。(A-3-1-8-2)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p387-395を読み, 要点を確認する。	
12月	1日	菊池憲一郎	ユニット9:泌尿器系	1) 泌尿器系に属する器官の名称について述べる。(A-3-1-10-1) 2) 泌尿器系に属する器官の基本構造について述べる。(A-3-1-10-1) 3) 腎臓の微細構造と機能について述べる。(A-3-1-10-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p397-417を読み, 要点を確認する。	
12月	8日	菊池憲一郎	ユニット10:生殖器系	1) 男性生殖器の微細構造と機能について説明する。(A-3-1-11-1) 2) 女性生殖器の微細構造と機能について説明する。(A-3-1-11-1) 3) 卵胞形成と月経周期を述べる。(A-3-1-11-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p419-459を読み, 要点を確認する。	
12月	15日	菊池憲一郎	ユニット11:感覚器(1) 皮膚とその付属器	1) 皮膚を構成する組織について述べる。(A-3-1-1-2) 2) 皮膚の付属器である爪, 毛, 皮膚腺の組織構造について述べる。(A-3-1-1-2) 3) 皮膚の感覚受容器と体性感覚の神経路について述べる。(A-3-1-6-2)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p253-274を読み, 要点を確認する。	
12月	22日	菊池憲一郎	ユニット12:感覚器(2) 視覚器	1) 視覚器の基本構造について述べる。(A-3-1-6-1) 2) 眼の微細構造と機能を説明する。(A-3-1-6-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p275-296を読み, 要点を確認する。	
1月	12日	菊池憲一郎	ユニット13:感覚器(3) 平衡聴覚器	1) 平衡聴覚器の基本構造について述べる。(A-3-1-6-1) 2) 外耳の微細構造を述べる。(A-3-1-6-1) 3) 中耳の微細構造を説明する。(A-3-1-6-1) 4) 内耳を構成する骨迷路と膜迷路の構造について述べる。(A-3-1-6-1)
		準備学習内容	ダウンロードした講義資料と「組織学 改訂20版」p276-310を読み, 要点を確認する。	

科目名

地域連携・在宅医療概論

曜日 時間

火

14:30～15:50

本学期的到達目標(GIO)

患者が居住する地域の中で自分らしい生活を送るために必要な支援体制と、在宅における歯科医療を理解するために、地域における医療・福祉・保健などの実際を学習し、将来の臨床で必要な多職種連携と地域包括ケアの知識を身につける。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

著者・編集	書名	版	出版社
菊谷 武	歯科と栄養が会うとき 診療室から始める！ フレイル予防の食事指導	第1版	医歯薬出版
米山 武義	口にかかわるすべての人のための誤嚥性肺炎 予防	第1版	医歯薬出版
日本障害者歯科学会	小児在宅歯科医療の手引き	第1版	医歯薬出版
菊谷 武	実践！在宅摂食嚥下リハビリテーション診療 (MB Medical Rehabilitation No.267 増刊号)	第1版	全日本病院出版会
大井 裕子	〈暮らしの中の看取り〉準備講座	第1版	中外医学社

担当者一覧

田村文誉, 菊谷 武, 山田裕之, 宮下直也, 水越新人, 今井庸子, 町田麗子, 梅津糸由子, 小方清和, 白野美和, 児玉実穂, 石井良昌, 福井智子, 大井裕子, 吉田光由, 久野彰子, 米山武義, 五島朋幸

学習方略

講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(70 %) 論述試験(20 %) 口頭試験(%) レポート(10 %)
 ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%)
 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他()

オフィスアワー

日時:毎週火曜日授業終了後 または 附属病院口腔リハビリテーション科へ連絡
 場所:授業終了後は講義室 または 附属病院口腔リハビリテーション科

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	29日	菊谷 武 山田 裕之	ユニット1: 大学附属クリニックにおける地域ハブ拠点が行なう地域連携・在宅医療の現状	1) 地域包括ケアにおける歯科の役割を述べる。(C-4-3, D-6-2) 2) 地域連携の意義について述べる。(C-4-3-6) 3) 在宅医療の意義について述べる。(C-4-3-4, C-4-3-7) 4) 口腔リハビリテーション多摩クリニックの活動を説明する。(C-1-3)
		準備学習内容	日本歯科大学口腔リハビリテーション多摩クリニックについて調べておくこと (https://www.tky.ndu.ac.jp/hospital/tama_clinic/)。	
10月	6日	宮下 直也 水越 新人	ユニット2: 地域におけるスペシヤルニーズデンティストリー	1) 有病児・障害児の歯科医療について説明する。(D-2-1-2, D-5-8) 2) 有病児・障害児の歯科医療と地域連携を述べる。(D-6-1, D-6-2) 3) 医療ソーシャルワーカーの役割を説明する。(D-2-4-3, D-6-2-4)
		準備学習内容	障害者歯科医療の概念について予習しておくこと。医療ソーシャルワーカーについて調べておくこと。	
10月	13日	田村 文誉 今井 庸子	ユニット3: 小児在宅医療と医療的ケア児の理解	1) 小児在宅歯科医療活動と地域連携を説明する。(C-1-3, G-4-3-4, C-4-3-6, D-2-1-2, D-2-4-1, D-2-4-3) 2) 在宅医療が必要な小児の特徴を述べる。(D-5-8) 3) 医療的ケアについて説明する。(D-2-1-2, D-6-1)
		準備学習内容	日本障害者歯科学会発行の小児在宅歯科医療の手引き (file:///C:/Users/FHT/Dropbox/PC/Downloads/guideline.pdf)に目を通しておくこと。	
10月	20日	町田 麗子 梅津糸由子	ユニット4: 小児在宅歯科医療の実際	1) 小児在宅歯科医療における摂食嚥下の支援を説明する。(D-2-1-2, D-2-4-1, D-2-4-3, D-5-8, D-6-1-1, D-6-2-4) 2) 小児在宅歯科医療における歯科診療を説明する。(D-2-1-2, D-2-4-1, D-2-4-3, D-5-6, D-5-8, D-6-1-1, D-6-2-4)
		準備学習内容	日本障害者歯科学会発行の小児在宅歯科医療の手引き (file:///C:/Users/FHT/Dropbox/PC/Downloads/guideline.pdf)に目を通しておくこと。	
10月	27日	小方 清和	ユニット5: 小児医療拠点病院における歯科の役割	1) 小児拠点病院における小児歯科の機能について説明する。(D-2-4, D-6-1) 2) 小児医療拠点病院における歯科の役割を述べる。(D-2-1-2, D-2-4-1, D-2-4-3) 3) 小児医療との連携について説明する。(D-2-4-1, D-2-4-3)
		準備学習内容	有病児の歯科医療や小児の緩和ケアについて予習しておくこと。	
11月	10日	白野 美和	ユニット6: 日本歯科大学大学新潟病院における歯科訪問診療	1) 歯科教育機関における歯科訪問診療について説明する。(C-4-3-6) 2) 地方型歯科訪問診療の留意点を記述する。(C-4-3-7) 3) 大学附属病院の機能について述べる。(C-1-3)
		準備学習内容	日本歯科大学在宅ケア新潟クリニックにおける訪問歯科について調べておくこと (https://www.ngt.ndu.ac.jp/hospital/clinic/index.html)。	
11月	17日	児玉 実穂 石井 良昌	ユニット7: 高齢者歯科医療を行うための地域医療支援病院における歯科の活動	1) 歯科教育機関における歯科訪問診療について説明する。(C-4-3-6) 2) 附属病院における在宅歯科医療活動を説明する。(C-4-3-6) 3) 地域医療支援病院について述べる。(C-4-3-6, C-4-3-7) 4) 地域医療支援病院における歯科の役割を述べる。(C-4-3-6, C-4-3-7) 5) NSTについて説明する。(D-6-2-4)
		準備学習内容	地域医療支援病院の役割について予習しておくこと。	
11月	24日	福井 智子	ユニット8: 地域口腔保健センターにおける在宅歯科医療	1) 口腔保健支援センターと歯科医療の関係を述べる。(C-4-3-1, C-4-3-6, C-4-3-7) 2) 地域の口腔保健センターにおける在宅歯科医療活動について説明する。(C-4-3-1, C-4-3-6, C-4-3-7)
		準備学習内容	口腔保健支援センターの役割について調べておくこと。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
12月	1日	大井 裕子 菊谷 武	ユニット9:在宅・ホスピスにおける緩和ケアのアプローチと在宅歯科医療	1) 死の過程を説明する。(C-1-3-1, C-1-3-6) 2) 緩和ケアについて述べる。(C-1-1-2, C-1-3-6) 3) 地域連携におけるホスピスや在宅緩和ケアの役割を説明する。(C-1-3-1, C-1-3-6) 4) 人生の最終段階での歯科医療者の関わりを述べる。(C-1-3-1, C-1-3-6) 5) 終末期における口腔の変化と対応について説明する。(D-4-3-4)
		準備学習内容	人生の終末期における歯科のかかわりについて調べておくこと。ホスピスケアについて予習しておくこと。	
12月	8日	吉田 光由 菊谷 武	ユニット10:病院歯科における急性期入院患者に対する歯科の役割	1) 急性期リハビリテーションが必要な患者の歯科医療について説明する。(D-2-4-1, D-2-4-3) 2) 医科疾患合併患者の歯科治療時の注意点を説明する。(D-6-1, D-6-2-1, D-6-2-3, D-6-2-4)
		準備学習内容	病院歯科の役割について調べておくこと。	
12月	15日	久野 彰子	ユニット11:医学部付属病院における周術期等口腔機能管理	1) 医科病院における院内多職種連携, および地域連携について述べる。(D-2-4-1, D-2-4-3, D-6-2-4) 2) 周術期等口腔機能管理について説明する。(D-6-1, D-6-2-1, D-6-2-3, D-6-2-4)
		準備学習内容	周術期口腔機能管理について予習しておくこと。	
12月	22日	米山 武義	ユニット12:地域包括ケアシステムにおける歯科医療	1) 地域連携について説明する。(C-1-3) 2) 在宅医療について説明する。(C-1-3, C-4-3-4, C-4-3-6, C-4-3-7, D-4-3-4) 3) 地域包括ケアにおける歯科の役割を述べる。(C-4-3, D-6-2)
		準備学習内容	誤嚥性肺炎予防と歯科の役割について予習しておくこと。	
1月	12日	五島 朋幸	ユニット13:地域に根差した歯科訪問診療	1) 一次歯科医療者が行う歯科訪問診療を述べる。(C-4-3-7) 2) 一次歯科医療に必要な多職種との連携の必要性を述べる。(C-1-3, C-4-3-4, D-6-2) 3) 都市型歯科訪問診療の留意点を記述する。(C-4-3-4, C-4-3-6)
		準備学習内容	地域包括ケアシステムにおける一次医療としての歯科訪問診療について調べておくこと。	

科目名

生理学

曜日 時間

水

9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

歯科医学と歯科医療を理解するために必要な生体の正常機能(全身機能および口腔機能)に関する具体的な知識を修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**岩田幸一, 井上富雄,
船橋 誠, 加藤隆史 編

基礎歯科生理学

7

医歯薬出版

春日雅人, 北村 聖,
大西宏明 編

臨床検査データブック[コンパクト版]

13

医学書院

担当者一覧

佐伯周子, 肖 黎, 井出良治, 橋爪那奈, 山田好秋, 杉浦むつみ

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(70 %) 論述試験(30%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 月～金曜日 16:30～17:30

場所: 本館5階 生理学講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	30日	山田 好秋	ユニット1: 摂食・嚥下・嘔吐	1) 嚥下反射を説明する。(A-3-2-10) 2) 嘔吐反射を説明する。(A-3-2-11) 3) 摂食・嚥下中枢と関連する末梢神経の機構を説明する。(A-3-2-4) 4) 嚥下関連筋の働きについて説明する。(A-3-2-12)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p400-412, p419-425を参考に要点を確認する。	
10月	7日	井出 良治	ユニット2: 言語・発声・構音	1) 言語中枢について説明する。(A-3-2-14) 2) 発音・構音・発語について説明する。(A-3-2-14) 3) 発音・構音・発語障害の原因, 検査, 診断を説明できる。(A-3-2-14)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p272-278, p442-462を参考に要点を確認する。	
10月	14日	佐伯 周子	ユニット3: 運動制御と視覚	1) 運動系の構成を列記する。(A-3-1-5-4) 2) 反射について説明する。(A-3-1-5-5) 3) 大脳皮質連合野と大脳皮質運動野について説明する。(A-3-1-5-4) 4) 視覚の受容機構を説明する。(A-3-1-6-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p233-245, p180-199を参考に要点を確認する。	
10月	21日	井出 良治	ユニット4: 咀嚼と筋電図	1) 咀嚼筋について列記する。(A-3-2-9) 2) 顎運動の神経機構について記述する。(A-3-2-9) 3) 顎反射について説明する。(A-3-1-5-5) 4) 咀嚼の意義と制御機構を説明する。(A-3-2-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p356-372, p379-399を参考に要点を確認する。	
10月	28日	杉浦 むつみ	ユニット5: 耳鼻咽喉領域の機能	1) 耳の生理について具体的に説明する。(A-3-1-6-1) 2) 鼻の生理について具体的に説明する。(A-3-1-6-1) 3) 口腔・咽頭の生理について具体的に説明する。(A-3-2-12)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p200-206, p343-355を参考に要点を確認する。	
11月	4日	橋爪 那奈	ユニット6: 内分泌①	1) 視床下部ホルモンを列記し, 説明する。(A-3-1-9-2) 2) 下垂体前葉ホルモンの分類を説明する。(A-3-1-9-2) 3) 下垂体後葉ホルモンについて記述する。(A-3-1-9-2) 4) インスリンとグルカゴンの作用を対比する。(A-3-1-9-2) 5) 甲状腺ホルモンについて説明する。(A-3-1-9-2) 6) 副腎皮質ホルモンと副腎髄質ホルモンについて説明する。(A-3-1-9-2)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書第7章(p132-150)を参考に要点を確認する。	
11月	11日	橋爪 那奈	ユニット7: 内分泌②	1) 消化管ホルモンについて説明する。(A-3-1-9-2) 2) 内分泌疾患を評価する。(A-3-1-9-2) 3) 性ホルモンについて記述する。(A-3-1-11-1) 4) 生殖器系の構成を説明する。(A-3-1-11-1) 5) 性ホルモンの分泌器官と作用を説明する。(A-3-1-11-1) 6) 女性ホルモンの分泌と性周期の関係を説明する。(A-3-1-11-1) 7) 受精から着床までの流れを説明する。(A-3-1-11-1) 8) ヒトの性の決定について説明する。(A-3-1-11-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書第7章(p132-150)を参考に要点を確認する。	
11月	18日	橋爪 那奈	ユニット8: 唾液腺	1) 唾液の作用を具体的に列挙する。(A-3-3-6) 2) 唾液の分泌機序を説明する。(A-3-3-7) 3) 唾液分泌反射経路を説明する。(A-3-3-7) 4) 唾液分泌量と性状の変化について説明する。(A-3-3-6)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p426-441を参考に要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	25日	肖 黎	ユニット9:消化と吸収	1)三大栄養素の消化と吸収について具体的に記述する。(A-3-1-7-1) 2)口腔から大腸におよぶ消化吸収過程について具体的に説明する。(A-3-1-7-1) 3)胃・小腸および大腸の運動について具体的に述べる。(A-3-1-7-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p157-179を参考に要点を確認する。	
12月	2日	佐伯 周子	ユニット10:血液①(血球・血漿)	1)血液と血漿の組成を分類する。(A-3-1-4-5) 2)血球・血漿の機能を列挙する。(A-3-1-4-5) 3)造血機構を説明できる。(A-3-1-4-7) 4)白血病を評価する。(D-3-1-10-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p51-59を参考に要点を確認する。	
12月	9日	佐伯 周子	ユニット11:血液②(止血機序・血液型)	1)血小板の機能を説明する。(A-3-1-4-8) 2)血液凝固・線溶系および止血機序を説明する。(A-3-1-4-8) 3)血液型を分類する。(E-2-3-7) 4)輸血時の交叉適合試験を説明する。(E-2-3-7) 5)血友病の病態を記述する。(D-3-1-10-1)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p51-59を参考に要点を確認する。	
12月	16日	肖 黎	ユニット12:中枢神経系	1)大脳皮質の機能局在について述べる。(A-3-1-5-4) 2)調節中枢について説明する。(A-3-1-5-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p246-273, p278を参考に要点を確認する。	
12月	23日	肖 黎	ユニット13:体温調節	1)体温の調節機序を説明する。(A-3-1-9-4) 2)体温調節中枢を説明する。(A-3-1-9-4) 3)熱産生について説明する。(A-3-1-9-4)
		準備学習内容	講義資料をダウンロードする。教科書p123-131を参考に要点を確認する。	

科目名

生化学

曜日 時間

水 10:30 ~ 11:50

本学期的到達目標(GIO)

歯科医学・医療の基礎を口腔生化学的・分子生物学的基盤に立脚して理解するために、口腔組織における主要な構造と機能を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

荒川俊哉 他

スタンダード生化学・口腔生化学

第4版

学建書院

担当者一覧

才木桂太郎

学習方略

- 講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

- 客観試験(60%)
 論述試験(40%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他()

オフィスアワー

日時:毎週月曜日 8:00 ~ 9:00

場所:本館6階 生化学講座

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 30日	才木桂太郎	ユニット1:組織の種類と機能	1)組織の種類と機能を記述する。(A-3-1-1-1) 2)上皮細胞間の結合様式を列記する。(A-3-1-1-2) 3)細胞外マトリックスを説明する。(A-1-5-3) 4)結合組織の構造と構成を列記する。(A-3-1-2-2)
	準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.147~149, 178~179	読んで要点を確認する。
10月 7日	才木桂太郎	ユニット2:細胞外マトリックスタンパク質1	1)コラーゲン分子の種類と特徴を列記する。(A-1-5-3) 2)コラーゲンの生合成を記述する。(A-1-5-4) 3)コラーゲンの構造的特徴を説明する。(A-1-5-3) 4)エラスチンの構造と機能を列記する。(A-1-5-3)
	準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.180~189	読んで要点を確認する。
10月 14日	才木桂太郎	ユニット3:細胞外マトリックスタンパク質2	1)プロテオグリカンの種類と構造と特徴を列記する。(A-1-5-3) 2)細胞接着タンパク質の種類と構造と特徴を列記する。(A-1-5-3) 3)インテグリンの種類と構造と特徴を記述する。(A-1-5-1) 4)非コラーゲンタンパク質の種類と特徴を列記する。(A-1-5-3)
	準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.190~201, 208~214	読んで要点を確認する。

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	21日	才木桂太郎	ユニット4:硬組織	1)硬組織の種類と組成を列記する。(A-3-1-2-3) 2)硬組織を構成する細胞と細胞質を列記する。(A-3-1-2-2) 3)骨芽細胞の特徴を説明する。(A-3-1-2-4) 4)石灰化機構を列記する。(A-3-1-2-5)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.202~207, 215~226を読んで要点を確認する。	
10月	28日	才木桂太郎	ユニット5:骨のリモデリング	1)破骨細胞の特徴を説明する。(A-3-1-2-4) 2)歯の形成を記述する。(A-3-4-4) 3)血清カルシウム濃度の調節機構を説明する。(A-1-2-6) 4)代謝性骨疾患を列記する。(D-3-1-10-6)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.227~p.249を読んで要点を確認する。	
11月	4日	才木桂太郎	ユニット6:唾液とペリクル	1)唾液の機能を記述する。(A-3-3-6) 2)唾液タンパク質の種類と特徴を説明する。(A-3-3-6) 3)sIgAの分泌機構を説明する。(A-3-3-7) 4)ペリクルの特徴を列記する。(A-3-3-6)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.250~262を読んで要点を確認する。	
11月	11日	才木桂太郎	ユニット7:う蝕と歯周疾患	1)プラークとバイオフィルムを記述する。(D-3-2-4) 2)う蝕の発症機序を記述する。(D-3-2-1) 3)ヒドロキシアパタイトの脱灰を記述する。(D-3-2-1) 4)非う蝕性代用甘味料の種類と特徴を列記する。(D-5-1-1)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.270~281を読んで要点を確認する。	
11月	18日	才木桂太郎	ユニット8:免疫	1)自然免疫の種類と特徴を列記する。(A-4-2-1) 2)獲得免疫の種類と特徴を列記する。(A-4-2-2) 3)粘膜免疫に関わる免疫細胞の種類を記述する。(A-4-2-4) 4)サイトカインの種類と特徴を列記する。(A-1-5-2)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.172~175を読んで要点を確認する。	
11月	25日	才木桂太郎	ユニット9:がん	1)がんの特性を列記する。(A-5-6-1) 2)がん遺伝子とがん抑制遺伝子を列記する。(A-5-6-1) 3)発がん機構と転移機構を記述する。(A-5-6-2) 4)がんの診断と治療を説明する。(A-5-6-1)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 p.316~p.331を読んで要点を確認する。	
12月	2日	才木桂太郎	ユニット10:情報伝達機構	1)シグナル伝達物質の種類と特徴を列記する。(A-1-5-2) 2)情報伝達機構を記述する。(A-1-5-2) 3)ホルモンの種類と作用を列記する。(A-3-1-9-2) 4)ホルモンの調節機構を説明する。(A-3-1-9-2)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.156~p.171を読んで要点を確認する。	
12月	9日	才木桂太郎	ユニット11:病態を理解するための生化学	1)肝機能を列記する。(A-3-1-7-2) 2)腎機能を列記する。(A-3-1-10-1) 3)ヘモグロビンの構造と機能を記述する。(A-3-1-4-5) 4)止血機構を説明する。(A-3-1-4-8)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.332~p.347を読んで要点を確認する。	
12月	16日	才木桂太郎	ユニット12:老化,生活習慣病,再生医学	1)老化の病態と特徴列記する。(A-2-3-1) 2)肥満とその関連病態を記述する。(A-5-2-5) 3)糖尿病と病態を記述する。(A-5-2-5) 4)再生医学を説明する。(A-5-3-1)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 pp.150~155, 348~373を読んで要点を確認する。	
12月	23日	才木桂太郎	ユニット13:まとめ,総合討論	1)生活習慣病の種類と病態を説明する。(A-5-2-5) 2)遺伝性疾患の種類を記述する。(A-1-3-4) 3)血液生化学検査を説明する。(E-2-3-7) 4)健康と栄養の関係を記述する。(A-1-2-8)
		準備学習内容	スタンダード生化学・口腔生化学 8章~16章を読んで要点を確認する。	

科目名

生化学実習

曜日 時間

水

13:00 ~ 15:50

本学期的到達目標(GIO)

歯科医学・医療の基礎を分子レベルから理解するために、タンパク質の精製・構造解析、酵素活性測定を実施する。また、唾液成分の検出・分子生物学の基本操作などを実習し、生体成分の機能を修得する。

教科書・参考書

著者・編集

書名

版

出版社

生化学講座 編

生化学実習書

2026年
版

担当者一覧

千葉忠成, 美原希美, 根岸 翼, 水沼秀樹, 岡崎真大, 橋本孝志, 宮坂芳弘, 毛呂文紀, 薄葉博史

学習方略

講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習
 その他(演習)

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(30%) 論述試験(20%) 口頭試験(%) レポート(40%)
 ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%)
 観察記録(10%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他(実習前に前週の実習内容の小試験と最後のユニットで実習試験を行う)

オフィスアワー

日時: 毎週火曜日

場所: 本館6F 生化学講座研究室

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標(SBOs)
9月 30日	千葉 忠成	ユニット1:実習ガイダンス グループ1(実習室) グループ2(実習室)	1) 実験器具および機器の取り扱いについて説明する。 2) 実験器具および機器の基本的な操作を実施する。
	準備学習内容	生化学実習を始めるにあたって、基礎知識の項目を熟読しておくこと。 (p1-3)	
10月 7日	千葉 忠成	ユニット2:タンパク質の種類・機能・検出(演習) グループ1(講堂)	1) 生化学におけるタンパク質の種類と機能を知る。(A-1-2-1) 2) 生体内のタンパク質の定性・定量方法を説明する。(A-1-2-1)
	準備学習内容	タンパク質に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p6-15, p17-19, p21-44)	
	千葉 忠成	ユニット3:イオン交換クロマトグラフィーによるタンパク質の精製 グループ2(実習室)	1) クロマトグラフィーによるタンパク質精製の原理を説明し、実施する。(A-1-2-1) 2) 精製したタンパク質を同定する。(A-1-2-1) 3) 精製したタンパク質の回収率を求める。(A-1-2-1)
	準備学習内容	タンパク質に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験2を予習しておくこと。 (p9-10, p25-27)	

授業日	担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	14日	千葉 忠成 ユニット3:イオン交換クロマトグラフィーによるタンパク質の精製 グループ1(実習室)	1) クロマトグラフィーによるタンパク質精製の原理を説明し、実施する。(A-1-2-1) 2) 精製したタンパク質を同定する。(A-1-2-1) 3) 精製したタンパク質の回収率を求める。(A-1-2-1)
		準備学習内容 タンパク質に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験2を予習しておくこと。 (p9-10, p25-27)	
	千葉 忠成 ユニット2:タンパク質の種類・機能・検出(演習) グループ2(講堂)	1) 生化学におけるタンパク質の種類と機能を知る。(A-1-2-1) 2) 生体内のタンパク質の定性・定量方法を説明する。(A-1-2-1)	
	準備学習内容 タンパク質に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p6-15, p17-19, p21-44)		
10月	21日	千葉 忠成 ユニット4:酵素の種類・機能・検出(演習) グループ1(講堂)	1) 生化学における酵素の種類と機能を知る。(A-1-2-5) 2) 生体内の酵素の働きと異常について知る。(A-1-2-5) 3) 生体内の酵素の測定方法を説明する。(A-1-2-5)
		準備学習内容 酵素に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p45-67)	
	千葉 忠成 ユニット5:酵素の最適pHと最適温度 グループ2(実習室)	1) 酵素の最適pHを測定する。(A-1-2-5) 2) 酵素の最適温度を測定する。(A-1-2-5) 3) 酵素反応の最適条件について考察する。(A-1-2-5)	
	準備学習内容 酵素に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験6, 7を予習しておくこと。 (p45, p53-56)		
10月	28日	千葉 忠成 ユニット5:酵素の最適pHと最適温度 グループ1(実習室)	1) 酵素の最適pHを測定する。(A-1-2-5) 2) 酵素の最適温度を測定する。(A-1-2-5) 3) 酵素反応の最適条件について考察する。(A-1-2-5)
		準備学習内容 酵素に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験6, 7を予習しておくこと。 (p45, p53-56)	
	千葉 忠成 ユニット4:酵素の種類・機能・検出(演習) グループ2(講堂)	1) 生化学における酵素の種類と機能を知る。(A-1-2-5) 2) 生体内の酵素の働きと異常について知る。(A-1-2-5) 3) 生体内の酵素の測定方法を説明する。(A-1-2-5)	
	準備学習内容 酵素に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p45-67)		
11月	4日	千葉 忠成 ユニット6:ELISA法による微量生体物質の検出 グループ1(実習室) グループ2(実習室)	1) 抗原抗体反応の原理を理解し、酵素免疫測定法を実習する。(A-4-1-9) 2) 病原体の拡散を追跡することで、集団内での感染症集団発生について考察する。(A-4-1-9)
		準備学習内容 酵素に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験10を予習しておくこと。 (p45-52, p65-67)	
11月	11日	千葉 忠成 ユニット7:唾液成分の種類・無機成分・有機成分・唾液タンパク質の機能(演習)	1) 唾液成分の種類を知る。(A-3-3-6) 2) 唾液成分の機能を知る。(A-3-3-6) 3) 唾液成分の検出方法を知る。(A-3-3-6)
		準備学習内容 唾液に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p69-75, p77-94)	
	千葉 忠成 ユニット8:含嗽中の乳酸の定量(合成基質法) グループ2(実習室)	1) 合成基質を用いて、グルコース含嗽唾液内に含まれる乳酸を定量する。(A-1-2-2) 2) グルコース量に対する乳酸生成率を計算する。(A-1-2-2)	
	準備学習内容 唾液に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験14を予習しておくこと。 (p65-79, p87-88)		
11月	18日	千葉 忠成 ユニット8:含嗽中の乳酸の定量(合成基質法) グループ1(実習室)	1) 合成基質を用いて、グルコース含嗽唾液内に含まれる乳酸を定量する。(A-1-2-2) 2) グルコース量に対する乳酸生成率を計算する。(A-1-2-2)
		準備学習内容 唾液に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験14を予習しておくこと。 (p65-79, p87-88)	
	千葉 忠成 ユニット7:唾液成分の種類・無機成分・有機成分・唾液タンパク質の機能(演習)	1) 唾液成分の種類を知る。(A-3-3-6) 2) 唾液成分の機能を知る。(A-3-3-6) 3) 唾液成分の検出方法を知る。(A-3-3-6)	
	準備学習内容 唾液に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p69-75, p77-94)		

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	25日	千葉 忠成	ユニット9: 歯科治療における臨床検査 (演習) グループ1 (講堂) グループ2 (講堂)	1) 臨床検査の種類を知る。(D-2-3-1) 2) 臨床検査の臨床的意義を説明する。(E-2-3-1) 3) 臨床検査の生化学的意義を説明する。(E-2-3-7) 4) 血液検査と尿検査の具体例を考察する。(E-2-3-7)
		準備学習内容	臨床検査に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p109-122)	
12月	2日	千葉 忠成	ユニット10: 歯科医院における臨床生化学 (講演) グループ1 (講堂) グループ2 (講堂)	1) 臨床現場における臨床生化学について説明する。(E-2-2-6) 2) 開業医の先生から臨床生化学の重要性について説明する。(E-2-2-6)
		準備学習内容	臨床検査に関する基礎知識を確認しておくこと。 (p109-122)	
12月	9日	千葉 忠成	ユニット12: ゲノムDNAの遺伝子解析 グループ1 (実習室)	1) 遺伝子組換え実験の概念を説明する。(A-1-3-5) 2) PCRによる遺伝子臓腑の原理を理解し、実施する。(A-1-3-5, A-1-3-6) 3) DNAの制限酵素処理について説明する。(A-1-3-5)
		準備学習内容	分子生物学に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験28を予習しておくこと。 (p123-129, p159-162)	
		千葉 忠成	ユニット11: バイオインフォマティクス (演習) グループ2 (講堂)	1) 塩基配列に対応する遺伝子を同定する。(A-1-3-5) 2) 同定された遺伝子からタンパク質を同定し、その機能を調べる。(A-1-3-3) 3) 同定されたタンパク質の疾患を考察する。(A-1-3-4)
		準備学習内容	分子生物学に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験25を予習しておくこと。 (p123-129, p131-150)	
12月	16日	千葉 忠成	ユニット11: バイオインフォマティクス (演習) グループ1 (講堂)	1) 塩基配列に対応する遺伝子を同定する。(A-1-3-5) 2) 同定された遺伝子からタンパク質を同定し、その機能を調べる。(A-1-3-3) 3) 同定されたタンパク質の疾患を考察する。(A-1-3-4)
		準備学習内容	分子生物学に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験25を予習しておくこと。 (p123-129, p131-150)	
		千葉 忠成	ユニット12: ゲノムDNAの遺伝子解析 グループ2 (実習室)	1) 遺伝子組換え実験の概念を説明する。(A-1-3-5) 2) PCRによる遺伝子増幅の原理を理解し、実施する。(A-1-3-5, A-1-3-6) 3) DNAの制限酵素処理について説明する。(A-1-3-5)
		準備学習内容	分子生物学に関する実験の予備知識を確認しておくことと実験28を予習しておくこと。 (p123-129, p159-162)	
12月	23日	千葉 忠成	ユニット13: 実習試験 グループ1 (講堂) グループ2 (講堂)	1) 生化学実習で学んだ内容の理解度を問う。
		準備学習内容	生化学実習で学んだ内容の理解度を試験で問う。	

科目名

薬理学

曜日 時間

木

9:00～10:20

本学期的到達目標(GIO)

薬理学各論一般を理解し、歯科医師国家試験に対応した薬理学各論の諸知識を習得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

筒井健夫, 著

歯科薬物療法学

第8版

一世出版

戸苅彰史, 他編

現代歯科薬理学

第7版

医歯薬出版

担当者一覧

筒井健夫, 鳥居大祐, 神 唯, 矢久保修嗣, 伊藤亜希

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(60%) 論述試験(30%) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他(中間テスト(10 %) ※ 定期試験は前期における学習内容を含む。)**オフィスアワー**

日時: 毎週木曜日 16:00～17:00

場所: 本館5階 薬理学研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	24日	鳥居 大祐	ユニット1:薬物の適用上の注意	1)適用上の留意事項を列挙する。(A-6-3) 2)妊婦, 小児, 高齢者への薬物投与方法を述べる。(A-6-3) 3)全身疾患を有する患者への薬物投与について述べる。(A-6-3), (D-2-4) 4)後発医薬品を述べる。(A-6-1) 5)処方せんについて説明する。(A-6-1)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p89-99 を読み, Key Wordsを理解する。	
10月	1日	神 唯	ユニット2:消毒薬・腐蝕薬・収斂薬	1)消毒薬の作用機序を述べる。(A-6-2), (A-4-1) 2)効果を左右する条件を列挙する。(A-6-2), (A-4-1) 3)効力の判定について述べる。(A-6-2), (A-4-1) 4)消毒薬を分類する。(A-6-1), (A-4-1) 5)各消毒薬について述べる。(A-6-2), (A-4-1) 6)腐蝕薬・収斂薬について説明する。(A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p103-120を読み, Key Wordsを理解する。	
10月	8日	鳥居 大祐	ユニット3:抗炎症薬(1)	1)抗炎症薬の分類を列挙する。(A-6-2), (A-5-5) 2)ステロイド性抗炎症薬の作用機序および薬理作用を述べる。(A-6-2), (A-5-5)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p186-190 を読み, Key Wordsを理解する。	
10月	15日	神 唯	ユニット4:抗炎症薬(2)	1)非ステロイド性抗炎症薬の作用機序・薬理作用について述べる。(A-6-2), (A-5-5) 2)抗リウマチ薬・抗アレルギー薬について述べる。(A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p190-196 を読み, Key Wordsを理解する。	
10月	22日	神 唯	ユニット5:鎮痛薬	1)麻薬性・非麻薬性鎮痛薬の分類を列挙する。(A-6-1) 2)麻薬性・非麻薬性鎮痛薬の作用機序・薬理作用について述べる。(A-6-2) 3)オータコイドについて説明する。(A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p196-199 を読み, Key Wordsを理解する。	
10月	29日	神 唯	ユニット6:麻酔薬	1)麻酔前投薬を述べる。(A-6-2), (A-6-3) 2)全身麻酔薬の分類を述べる。(A-6-1), (A-6-2) 3)局所麻酔薬の分類を述べる。(A-6-1), (A-6-2) 4)局所麻酔薬の薬理作用を説明する。(A-6-2) 5)局所麻酔薬中毒を述べる。(A-6-4)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p121-133 を読み, Key Wordsを理解する。	
11月	5日	鳥居 大祐	ユニット7:感染症治療薬(1)	1)抗菌薬の薬理作用について述べる。(A-6-2), (A-4-1) 2)抗菌薬の作用機序と特徴について述べる。(A-6-2), (A-4-1)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p201-209 を読み, Key Wordsを理解する。	
11月	12日	二宮 一智	ユニット8:交換講義(新潟生命歯学部 薬理学講座)	1)病原微生物の種類による感染症薬の分類と特徴を説明する。(A-6-2), (A-4-1) 2)抗菌薬投与による血中濃度, 抗菌作用の関係を説明する。(A-6-2), (A-4-1) 3)抗菌薬の種類, 作用機序, 副作用について説明する。(A-6-2), (A-4-1) 4)抗真菌薬の分類, 作用機序について説明する。(A-6-2), (A-4-1) 5)抗ウイルス薬の分類, 作用機序について説明する。(A-6-2), (A-4-1)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p201-225 を読み, Key Wordsを理解する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	19日	鳥居 大祐	ユニット9:感染症治療薬(2)	1)各抗菌薬における特徴,作用機序,および薬理作用を述べる。(A-6-2),(A-4-1) 2)抗真菌薬と抗ウイルス薬の種類と特徴,適用方法を説明する。(A-6-2),(A-4-1)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p209-225 を読み, Key Wordsを理解する。	
11月	26日	鳥居 大祐	ユニット10:悪性腫瘍治療薬(1)・中間試験	1)悪性腫瘍治療薬の種類と作用機序を説明する。(A-6-2) 2)悪性腫瘍治療薬の特徴を述べる。(A-6-2) 3)これまでの学習内容を整理・再確認する。
		準備学習内容	中間試験の準備をする。Key Words(p227-228の範囲)を理解する。	
12月	3日	鳥居 大祐	ユニット11:悪性腫瘍治療薬(2)	1)悪性腫瘍治療薬の種類と作用機序を説明する。(A-6-2) 2)悪性腫瘍治療薬の特徴を述べる。(A-6-2)
		準備学習内容	歯科薬物療法学 p228-233 を読み, Key Wordsを理解する。	
12月	10日	伊藤 亜希 筒井 健夫	ユニット12:漢方薬(1)	1)漢方医学の概要について説明する。(A-6-2) 2)口腔領域における生薬,漢方薬の応用について述べる。(A-6-2)
		準備学習内容	歯学教育入門編を読み,漢方医学の概要と漢方薬の応用を理解する。	
12月	17日	矢久保修嗣	ユニット13:漢方薬(2)	1)生薬からつくられる漢方薬を紹介する。(A-6-2) 2)現代医療の中の漢方の役割を説明する。(A-6-2) 3)漢方薬の副作用を述べる。(A-6-2)
		準備学習内容	内容をまとめた動画を視聴し,漢方の役割と副作用を理解する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	15日	横山 知美	ユニット4: Herpes Simplex ②	1) 単純ヘルペスウイルスに関する言葉について、列挙する。(C-7-1) 2) 英語を聞いて、内容について記述する。(C-7-1) 3) 学んだ知識について一般化する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Herpes Simplex』の項を確認する。	
10月	22日	横山 知美	ユニット5: The Temporomandibular Joint ①	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 英語を聞いて、内容について記述する。(C-7-1) 3) 顎関節に関する言葉について、列挙する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『The Temporomandibular Joint』の項を確認する。	
10月	29日	横山 知美	ユニット6: The Temporomandibular Joint ②	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 顎関節症について、英語で具体的に述べる。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『The Temporomandibular Joint』の項を確認する。	
11月	5日	横山 知美	ユニット7: Sialolithiasis①	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 唾液腺に関する言葉について、列挙する。(C-7-1) 3) 唾石症について英語で列挙する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Sialolithiasis』の項を確認する。	
11月	12日	横山 知美	ユニット8: Sialolithiasis② (9:00~10:20)	1) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 2) 唾石症について、英語で具体的に述べる。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Sialolithiasis』の項を確認する。	
11月	19日	横山 知美	ユニット9: Inferior Alveolar Nerve Block	1) 顎顔面の構造について、英語で列挙する。(C-7-1) 2) 英語を聞いて、内容について記述する。(C-7-1) 3) 学んだ言葉について説明する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Inferior Alveolar Nerve Block』の項を確認する。	
11月	26日	横山 知美	ユニット10: Trigeminal Neuralgia①	1) 脳神経に関する言葉について、英語で列挙する。(C-7-1) 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(C-7-1) 3) 学んだ言葉について説明する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Trigeminal Neuralgia』の項を確認する。	
12月	3日	横山 知美	ユニット11: Trigeminal Neuralgia②	1) 三叉神経痛に関する言葉について、英語で列挙する。(C-7-1) 2) 英文を読んで、内容について記述する。(C-7-1) 3) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Trigeminal Neuralgia』の項を確認する。	
12月	10日	石田祥己	ユニット12: Paranasal Sinusitis①	1) 副鼻腔炎に関する言葉について、英語で列挙する。(C-7-1) 2) 専門用語について、英語で具体的に述べる。(C-7-1) 3) 学んだ言葉について説明する。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Paranasal Sinusitis』の項を確認する。	
12月	17日	石田祥己	ユニット13: Paranasal Sinusitis②	1) 学んだ言葉について、英語で説明する。(C-7-1) 2) 病院内での会話について、英語で具体的に述べる。(C-7-1)
		準備学習内容	歯科学生のための医学英語『Paranasal Sinusitis』の項を確認する。	

科目名

生理学実習

曜日 時間

木

13:00 ~ 15:50

本学期的到達目標(GIO)

歯科医学と歯科医療を理解するために人および動物を用いた生理学実習を行うことにより、講義で学んだ様々な生理学の知識を統合し、体験を加味して生体機能に関する考え方を身につける。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

日本歯科大学生命歯学部生理学講座

生理学実習書

令和
8(2026)
年度

日本歯科大学

岩田幸一, 井上富雄,
船橋 誠, 加藤隆史 編

基礎歯科生理学

7

医歯薬出版

担当者一覧

佐伯周子, 肖 黎, 井出良治, 橋爪那奈, 小林菊生, 加藤健一, 萩原和明, 山田好秋, 小林則之, 河内嘉道, 平島潤子, 池田水脈, 吉田清輝, 角井 淳, 牧野真也, 牧野尚子, 岩崎浩介, 北島躍一郎, 中村瑛史, 久保田日向

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(20 %) 論述試験(20 %) 口頭試験(%) レポート(50 %) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(10 %) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((%))**オフィスアワー**

日時: 月～金曜日 16:30～17:30

場所: 本館5階 生理学講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	24日	佐伯 周子	ユニット1: イントロダクション, オンデマンド実習「神経の興奮(複合活動電位)」	1) 生理学実習の目的を述べる。(C-1-1-6) 2) 動物実験を行う上での注意点を列記する。(C-1-1-6) 3) 生命倫理を説明する。(C-1-1-6) 4) 複合活動電位を測定する。(A-3-1-5-7) 5) 伝導速度の算出法と機能を説明する。(A-3-1-5-7) 6) 不応期を述べる。(A-3-1-5-7) 7) 細胞内電位の記録法を述べる。(A-3-1-5-7) 8) 静止膜電位の成因を説明する。(A-3-1-5-7) 9) 活動電位の発生とNa ⁺ との関係を説明する。(A-3-1-5-7)
		準備学習内容	生理学実習書IV-1. 神経の興奮を参考に要点を確認する。	
10月	1日	橋爪 那奈	ユニット2: 脈拍と血圧の測定	1) 脈拍と血圧の測定法を説明する。(D-2-3-3) 2) 収縮期・拡張期血圧を測定する。(D-2-3-3) 3) 血圧測定に影響する諸因子と血圧調節機序を説明する。(D-2-3-3)
		準備学習内容	生理学実習書IV-11. 脈拍と血圧の測定を参考に要点を確認する。	
10月	8日	小林 則之	ユニット3: 味覚(全口腔法)	1) 味覚検査の方法について述べる。(D-3-1-11-4) 2) 検知閾値と認知閾値について説明する。(D-3-1-11-4) 3) 味覚異常の原因, 診察, 検査, 診断を説明する。(D-3-1-11-4)
		準備学習内容	生理学実習書IV-8. 味覚(全口腔法)を参考に要点を確認する。	
10月	15日	小林 菊生	ユニット4: 触・圧点の分布, 二点弁別閾	1) 痛・触・圧・温・冷覚の測定法を説明する。(E-2-2-6) 2) 二点弁別閾の測定法を説明する。(E-2-2-6) 3) 感覚の順応と適刺激について説明する。(E-2-2-6)
		準備学習内容	生理学実習書IV-6. ①触・圧点の分布, ②二点弁別閾を参考に要点を確認する。	
10月	22日	牧野 尚子	ユニット5: 摂食と嚥下	1) 嚥下の意義と制御機構を説明する。(A-3-2-10) 2) 顎・顔面の構造と働きについて説明する。(A-3-2-4) 3) 嚥下反射の機序を説明する。(A-3-2-4) 4) 嚥下と関連して起こる誤嚥や窒息について述べる。(A-3-2-4)
		準備学習内容	生理学実習書IV-10. 摂食と嚥下を参考に要点を確認する。	
10月	29日	河内 嘉道	ユニット6: 酸素飽和度と呼吸ガス分圧, 腱反射と原始反射	1) 動脈血酸素飽和度測定(パルスオキシメトリ)の目的と適応を列挙する。(D-2-3-5) 2) 筋収縮力と運動単位との関係を述べる。(A-3-1-3-2) 3) 加重による筋収縮力の変化と完全強縮を測定する。(A-3-1-3-2) 4) 筋の長さが収縮力に与える効果を測定する。(A-3-1-3-2)
		準備学習内容	生理学実習書IV-14. 酸素飽和度と呼吸ガス分圧, IV-4. 腱反射と原始反射を参考に要点を確認する。	
11月	5日	北島 躍一郎	ユニット7: 心電図検査	1) 心電図の記録法について述べる。(D-2-3-5) 2) 心電図の概念を説明する。(D-2-3-5) 3) 心電図の結果と疾患の関係を説明する。(D-2-3-5)
		準備学習内容	生理学実習書IV-12. 心電図検査を参考に要点を確認する。	
11月	12日	井出 良治	ユニット8: スパイロメトリーによる換気機能検査	1) 呼吸測定法について説明する。(E-2-3-2) 2) 呼吸機能測定結果と疾患の関係を説明する。(E-2-3-2)
		準備学習内容	生理学実習書IV-13. スパイロメトリーによる換気機能検査を参考に要点を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	19日	佐伯 周子	ユニット9:オンデマンド実習「骨格筋の収縮」	1)筋収縮力と運動単位との関係を述べる。(A-3-1-3-2) 2)加重による筋収縮力の変化と完全強縮を測定する。(A-3-1-3-2) 3)筋の長さが収縮力に与える効果を測定する。(A-3-1-3-2)
		準備学習内容	生理学実習書IV-2. 骨格筋の収縮を参考に要点を確認する。	
11月	26日	加藤 健一	ユニット10:口腔機能検査, 聴覚と振動覚(音叉を使った測定)	1)口腔機能低下症を説明する。(E-2-2-6) 2)唾液の基礎分泌量を説明する。(E-2-2-6) 3)舌圧測定法を説明する。(E-2-2-6) 4)口腔湿潤計を説明する。(E-2-2-6) 5)聴覚受容器について説明する。(A-3-1-6-1)
		準備学習内容	生理学実習書IV-7. 口腔機能検査, IV-15聴覚と振動覚(音叉を使った測定)を参考に要点を確認する。	
12月	3日	佐伯 周子	ユニット11:咀嚼筋筋電図の記録, 顎反射	1)閉口筋, 開口筋の活動を筋電図として測定する。(A-3-2-9) 2)咬合力増大に関わる因子を列記する。(A-3-2-9) 3)下顎張反射の反射経路を述べる。(A-3-2-9) 4)咀嚼運動と末梢性感覚入力との関係を述べる。(A-3-2-9)
		準備学習内容	生理学実習書IV-5. 咀嚼筋電図の記録・顎反射を参考に要点を確認する。	
12月	10日	佐伯 周子	ユニット12:まとめ・質疑応答・レポート返却	1)ユニット2~11の内容を説明する。 2)疑問点を列記する。
		準備学習内容	実習書, 実習中のメモ等に目を通して要点を確認する。	
12月	17日	佐伯 周子	ユニット13:実習試験	1)実習項目に学んだ内容を記述する。
		準備学習内容	実習書, 教科書, 実習中のメモ等に目を通してこれまでの実習授業内容を把握する。	

科目名

微生物学

曜日 時間

金

9:00 ~ 10:20

本学期的到達目標(GIO)

寄生体としての微生物を理解するために、前期に引き続き、細菌、さらに真菌の形態、構造、機能、病原因子を理解し、疾患の診断、治療、及び予防を行うのに必要な知識を修得する。また、ウイルスの基本的性状、病原性と感染によって生じる病態を理解する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

石原和幸 他 編集

口腔微生物学

第8版

学建書院

担当者一覧

高橋幸裕, 山中 幸

学習方略 講義 示説(デモンストレーション) グループワーク(PBL, TBLを含む) 実習 その他()**成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)** 客観試験(50 %) 論述試験(40 %) 口頭試験(%) レポート(%) ポートフォリオ(%) シミュレーションテスト(%) 実地試験(%) 観察記録(%) 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式] その他((10 %))**オフィスアワー**

日時: 月~金 16:30~18:00

場所: 本館5階 微生物学研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	25日	山中 幸	ユニット1:グラム陰性菌-1	1) <i>Neisseria</i> 属, <i>Pseudomonas</i> 属, <i>Legionella</i> 属, <i>Brucella</i> 属, <i>Bordetella</i> 属の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) 上記菌属の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) 上記菌属による感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.85-87 101-105 を参照し予習	
10月	2日	山中 幸	ユニット2:グラム陰性菌-2	1) 腸内細菌科の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) <i>Shigella</i> , <i>Escherichia</i> の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) <i>Shigella</i> , <i>Escherichia</i> が原因となる感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.105-110 を参照し予習	
10月	9日	山中 幸	ユニット3:グラム陰性菌-3	1) 腸内細菌科の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) <i>Salmonella</i> および <i>Yersinia</i> の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) <i>Salmonella</i> および <i>Yersinia</i> が原因となる感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.111-113 を参照し予習	
10月	16日	山中 幸	ユニット4:グラム陰性菌-4	1) <i>Vibrio</i> 属, <i>Haemophilus</i> 属, <i>Campylobacter</i> 属, <i>Helicobacter pylori</i> の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) 上記菌属の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 3) 上記菌属による感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.113-122 を参照し予習	
10月	23日	山中 幸	ユニット5:スピロヘータ・リケッチア・クラミジア・マイコプラズマ	1) スピロヘータ, リケッチア, クラミジア, マイコプラズマを分類する。(A-4-1-1) 2) 上記菌群の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 3) 上記菌群の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 4) 上記菌群が原因となる感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.123-140 を参照し予習	
10月	30日	高橋 幸裕	ユニット6:真菌・原虫学	1) 真菌・原虫の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) 真菌・原虫と他の微生物を比較する。(A-4-1-1) 3) 真菌・原虫を分類する。(A-4-1-1) 4) 医学的に重要な真菌・原虫の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 5) 医学的に重要な真菌・原虫の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 6) 医学的に重要な真菌・原虫感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.2-14 191-208 410-412を参照し予習	
11月	6日	高橋 幸裕	ユニット7:ウイルスの基本構造	1) ウイルス学の歴史を説明する。(A-4-1-1) 2) ウイルスの基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 3) ウイルスを分類する。(A-4-1-1) 4) ウイルスの感染経路を述べる。(A-4-1-2)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.2-14 141-144 を参照し予習	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	13日	高橋 幸裕	ユニット8: ウイルスの増殖様式	1) ウイルスの宿主細胞への吸着, 侵入, 脱殻について説明する。(A-4-1-1) 2) ウイルスの遺伝子複製の過程を説明する。(A-4-1-1) 3) ウイルスの放出・出芽, およびプロセッシングを説明する。(A-4-1-2)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.144-150を参照し予習	
11月	20日	高橋 幸裕	ユニット9: ウイルス感染症の診断と予防および抗ウイルス薬	1) ウイルス感染症の診断について説明する。(A-4-1-3) 2) ウイルス感染症の予防接種について述べる。(A-4-2-7) 3) ウイルスの消毒に対する抵抗性について説明する。(A-4-1-8) 4) 抗ウイルス薬について説明する。(A-4-1-6)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.150-157 189 413-417 を参照し予習	
11月	27日	高橋 幸裕	ユニット10: DNAウイルス	1) DNAウイルスの基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 2) ヘルペスウイルス科の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 3) ヘルペスウイルス科の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 4) ヘルペスウイルス感染症の予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.158-163 189を参照し予習	
12月	4日	高橋 幸裕	ユニット11: RNAウイルス	1) RNAウイルスを分類する。(A-4-1-1) 2) RNAウイルスの基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 3) RNAウイルスの感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 4) RNAウイルス感染症の種類, 予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.164-172 185-190 を参照し予習	
12月	11日	高橋 幸裕	ユニット12: レトロウイルス	1) レトロウイルスを分類する。(A-4-1-1) 2) レトロウイルス科の基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 3) HIV, HTLV-1の感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 4) AIDS, ATLの予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.179-185 を参照し予習	
12月	18日	高橋 幸裕	ユニット13: 肝炎ウイルス	1) 肝炎ウイルスを分類する。(A-4-1-1) 2) 肝炎ウイルスの基本的な構造と性状を説明する。(A-4-1-1) 3) 肝炎ウイルスの感染機構と病原性を説明する。(A-4-1-2) 4) ウイルス性肝炎の予防, 診断および治療を説明する。(A-4-1-3)
		準備学習内容	配付資料および教科書 pp.173-178 を参照し予習	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
10月	9日	伊藤 正裕	ユニット3: 内分泌器, 泌尿器, 生殖器	1) 内分泌器の構造と働きを説明する。(A-3-1-9-1) 2) 泌尿器の構造と働きを説明する。(A-3-1-10-1) 3) 生殖器の構造と働きを説明する。(A-3-1-11-1)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P100-101, P234-239を読み要点を確認する。	
10月	16日	春原 正隆	ユニット4: 頭部の筋(表情筋, 咀嚼筋)	1) 頭部の筋(表情筋, 咀嚼筋)の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(A-3-2-3, A-3-2-4)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P144-145を読み要点を確認する。	
10月	23日	春原 正隆	ユニット5: 頸部の筋(舌骨上筋, 舌骨下筋, 胸鎖乳突筋, 斜角筋)	1) 頸部の筋(舌骨上筋, 舌骨下筋, 胸鎖乳突筋, 斜角筋)の起始, 停止, 作用, 神経支配を説明する。(A-3-1-3-3, A-3-2-3) 2) 頸部三角の名称と構成する筋を説明する。(A-3-2-3)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P145-149を読み要点を確認する。	
10月	30日	井出 吉昭	ユニット6: 頭頸部の神経(三叉神経)	1) 三叉神経が関与する副交感神経節を説明する。(A-3-2-6) 2) 眼神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6) 3) 上顎神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6) 4) 下顎神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P181-186を読み要点を確認する。	
11月	6日	井出 吉昭	ユニット7: 頭頸部の神経(顔面神経, 舌咽神経)	1) 顔面神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6) 2) 舌咽神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P186-192を読み要点を確認する。	
11月	13日	春原 正隆	ユニット8: 頭頸部の動脈1	1) 外頸動脈の直接枝の名称を列挙する。(A-3-2-5) 2) 顎動脈について説明する。(A-3-2-5)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P154-161を読み要点を確認する。	
11月	20日	春原 正隆	ユニット9: 頭頸部の動脈2	1) 浅側頭動脈を説明する。(A-3-2-5) 2) 舌動脈を説明する。(A-3-2-5) 3) 顔面動脈を説明する。(A-3-2-5) 4) その他の外頸動脈の分枝を説明する。(A-3-2-5)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P154-161を読み要点を確認する。	
11月	27日	春原 正隆	ユニット10: 頭頸部の静脈とリンパ系	1) 頭頸部の主要な静脈を説明する。(A-3-2-5) 2) 頭頸部のリンパ節の部位とリンパ管の経路を説明する。(A-3-2-5)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P162-169を読み要点を確認する。	
12月	4日	井出 吉昭	ユニット11: 頭頸部の神経(迷走神経, 副神経, 舌下神経, 頸神経など)	1) 迷走神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6) 2) 副神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6) 3) 舌下神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6) 4) 頸神経の走行とその枝を説明する。(A-3-2-6)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P189-195を読み要点を確認する。	
12月	11日	春原 正隆	ユニット12: 総括	1) 学習項目を列記する。(C-2-1) 2) 各項目の理解度を調べる。(C-2-1) 3) 修得した知識を適用する。(C-2-1)
		準備学習内容	ユニット1-11で学習した内容を改めて確認する。	
12月	18日	井出 吉信	ユニット13: 摂食・嚥下の解剖学	1) 摂食・嚥下の概要を説明する。(A-3-2-10) 2) 摂食・嚥下に関与する筋の名称と作用を説明する。(A-3-2-4) 3) 摂食・嚥下に関与する神経の名称を列挙する。(A-3-2-4, A-3-2-10)
		準備学習内容	口腔解剖学第3版P266-270を読み要点を確認する。	

科目名

解剖学実習

曜日 時間

金

13:00～15:50

本学期的到達目標(GIO)

後期の人体解剖学実習は新たなご遺体をもちいて、頭頸部、特に顎顔面領域の解剖を主に行うことにより、その基本構造を総合的に理解し、観察力、表現力、協調性を養い、かつ、医の倫理・生命の尊厳について修得する。

教科書・参考書**著者・編集****書名****版****出版社**

著者・編集	書名	版	出版社
J.W.Rohen 他著	解剖学カラーアトラス	原書 第8版	医学書院
前田健康 他編	口腔解剖学	第2版	医歯薬出版
阿部伸一, 春原正隆 他編	口腔顎顔面解剖ノート	第1版	学建書院
伊藤 隆 著	解剖学講義	第3版	南山堂
竹内修二 著	解剖トレーニングノート	第7版	医学教育出版社

担当者一覧

春原正隆, 井出吉昭, 鈴木金吾, 前田祐貴, 上野隆治, 山下恭嗣, 鶴澤一弘, 丹沢秀樹

学習方略

講義
 示説(デモンストレーション)
 グループワーク(PBL, TBLを含む)
 実習
 その他()

成績評価(比率は概算であり若干の変更が行われます)

客観試験(40%)
 論述試験(%)
 口頭試験(%)
 レポート(%)
 ポートフォリオ(%)
 シミュレーションテスト(%)
 実地試験(%)
 観察記録(10%)
 態度(授業態度, 遅刻, 欠席を含む)[減点式]
 その他(出席・提出物(50%))

オフィスアワー

日時:毎週金曜日 16:00～17:30
 場所:本館3階 解剖学第1講座研究室

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
9月	25日	春原 正隆	ユニット1: 剥皮と皮下組織の除去 <講堂> 画像問題演習	1) 頭頸部の浅層の筋, 血管, 神経を剖出する。(A-3-2-3, A-3-2-5, A-3-2-6) 2) 人体の構造の指標となる部位を体表で調べる。(A-3) 3) 体幹, 上・下肢の剥皮を実施する。(A-3-1-1-1)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
10月	2日	春原 正隆	ユニット2: 開胸・開腹 <講堂> 画像問題演習	1) 開胸・開腹を実施する。(A-3-1-4-1, A-3-1-7-1) 2) 心臓・肺の位置を確認する。(A-3-1-4-1, A-3-1-8-2) 3) 腹部内臓の位置を確認する。(A-3-1-7) 4) 心臓の構造を調べる。(A-3-1-4-1) 5) 心膜・胸膜および腹膜について説明する。(A-3-1-4-1, A-3-1-7-1, A-3-1-8-2) 6) 食道の位置を調べる。(A-3-1-7-1) 7) 肺と縦隔の位置を確認する。(A-3-1-8-2)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
10月	9日	春原 正隆	ユニット3: 神経叢, 交感神経幹, リンパ本幹の剖出 <講堂> 講義(復習): 泌尿器, 生殖器, 内分泌器(鈴木金吾)	1) 頸・腕・腰神経叢を剖出する。(A-3-1-5-1) 2) 交感神経幹と主要な自律神経節を剖出する。(A-3-1-5-3) 3) 右リンパ本幹, 胸管の形態と静脈への流入部を確認する。(A-3-1-4-6)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
10月	16日	春原 正隆	ユニット4: 頭頸部浅層の観察 <講堂> 画像問題演習	1) 主要な表情筋を剖出する。(A-3-2-3) 2) 口角周囲の表情筋の作用を調べる。(A-3-2-3) 3) 顔面神経の枝を剖出する。(A-3-2-6) 4) 耳下腺神経叢を剖出する。(A-3-2-6) 5) 耳下腺管の走行を確認する。(A-3-3-7) 6) 舌骨上下筋群を剖出する。(A-3-2-3)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
10月	23日	春原 正隆	ユニット5: 頭頸部の深層の観察 <講堂> 画像問題演習	1) 咀嚼筋を剖出する。(A-3-2-3, A-3-2-4) 2) 咀嚼筋の作用を調べる。(A-3-2-4) 3) 下顎神経咀嚼筋枝を剖出する。(A-3-2-6) 4) 翼突筋静脈叢を剖出する。(A-3-2-5) 5) 顎動脈の枝を剖出する。(A-3-2-5)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
10月	30日	春原 正隆	ユニット6: 顎関節の観察 <講堂> 画像問題演習	1) 顎関節の関節包を剖出する。(A-3-2-8) 2) 外側靭帯の形態を調べる。(A-3-2-8) 3) 顎関節の関節腔を開放する。(A-3-2-8) 4) 関節円板を観察する。(A-3-2-8) 5) 外側翼突筋と顎関節との関係を明らかにする。(A-3-2-3, A-3-2-8)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
11月	6日	春原 正隆	ユニット7: 開頭と脳の摘出 <講堂> 画像問題演習	1) 開頭を実施する。(A-3-2-1) 2) 脳を摘出する。(A-3-1-5-4) 3) 脳の区分について説明する。(A-3-1-5-4) 4) 脳神経の通路を内頭蓋底で説明する。(A-3-2-6)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	
11月	13日	春原 正隆	ユニット8: 頭頸部の半裁 <講堂> 画像問題演習	1) 頭頸部を半裁する。(A-3-2) 2) 頭部内臓の区分を正中断面で説明する。(A-3-2-1) 3) 頸部内臓の区分を正中断面で説明する。(A-3-2-1)
		準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。	

授業日		担当者	ユニット番号:テーマ	行動目標 (SBOs)
11月	20日	春原 正隆	ユニット9: 頭頸部深部の形態観察 <講堂> 特別講義: 顎顔面臨床解剖学(鶴澤一弘先生, 千葉大学大学院医学研究院 先端がん治療学研究講座 口腔科学)	1) 正中断面で内・外翼突筋を剖出する。(A-3-2-3) 2) 頬筋の走行とはたらきを説明する。(A-3-2-3) 3) 正中断面で下顎神経の枝を説明する。(A-3-2-6) 4) 正中断面で顎動脈の枝を説明する。(A-3-2-6)
			準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。
11月	27日	春原 正隆	ユニット10: 口腔および口腔隣接部の形態観察 <講堂> 画像問題演習	1) 正中断面で鼻腔の形態について説明する。(A-3-1-8-1) 2) 口腔を区分する。(A-3-3-1) 3) 口腔前庭と固有口腔の構造について説明する。(A-3-3-1) 4) 口蓋の形態について説明する。(A-3-3-4) 5) 舌の形態について説明する。(A-3-3-3)
			準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。
12月	4日	春原 正隆	ユニット11: 口峽, 咽頭, 喉頭の観察	1) 口峽の構成要素を列挙する。(A-3-3-1, A-3-3-4) 2) 咽頭を区分する。(A-3-2-12) 3) 咽頭の形態的特徴について説明する。(A-3-2-12) 4) 喉頭を構成する軟骨と筋について説明する。(A-3-2-13) 5) 発声器の構造について説明する。(A-3-2-14) 6) 喉頭に分布する神経を剖出する。(A-3-2-13)
			準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。
12月	11日	春原 正隆	ユニット12: 感覚器 <講堂> 特別講義: 安全で侵襲の少ない下顎・頸部領域手術に必要な解剖学的基礎知識(丹沢秀樹先生, 千葉大学名誉教授)	1) 外眼筋を剖出する。(A-3-1-6-1) 2) 眼球に分布する神経を調べる。(A-3-1-6-1) 3) 中耳の構造を調べる。(A-3-1-6-1) 4) 内耳の構造を調べる。(A-3-1-6-1)
			準備学習内容	解剖学実習室プリントを参照し, 実習の手順を確認する。
12月	18日	春原 正隆	ユニット13: まとめ	1) 献体の意義を説明する。(C-1-1-1) 2) 剖出部の名称を列挙する。(A-3-1) 3) CBT形式で実習試験を実施する。(A-3-1)
			準備学習内容	実習試験に向けた準備を行う。